

千葉市
児童の放課後の過ごし方に関する
アンケート調査
調査結果報告書

平成30年7月

千葉市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	未就学児保護者	2
	(1) 現在のご家庭の状況について.....	2
	(2) 子どもルーム（学童保育）について.....	3
	(3) 放課後子ども教室について.....	6
	(4) お子様の放課後について.....	7
	(5) 千葉市の放課後施策に期待することについて.....	13
2	小学生保護者	15
	(1) 家庭の状況について.....	15
	(2) 子どもルーム（学童保育）について.....	16
	(3) 放課後子ども教室について.....	18
	(4) 子どもの放課後について.....	21
	(5) 千葉市の放課後施策のよいところや問題点について.....	25
3	小学生	30
	(1) 放課後について.....	30
III	調査票	43
1	未就学児保護者	43
2	小学生保護者・小学生	47

I 調査の概要

1 調査の目的

放課後施策の総合的な指針となる「(仮称) 千葉市放課後子どもプラン」策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

未就学児（5歳児）がいる保育所利用世帯の保護者を任意に抽出
小学生がいる世帯の保護者とその子どもを任意に抽出
(特別支援学級については保護者のみ)

3 調査期間

未就学児がいる保育所利用世帯の保護者：平成30年5月30日から平成30年6月11日
小学生がいる世帯の保護者とその子ども：平成30年5月30日から平成30年6月8日


4 調査方法

保育所・認定こども園、小学校経由での直接配布・直接回収

5 回収状況

調査対象	調査実施校・所(園)	配布数	有効回答数	有効回答率
未就学児保護者	21か所(園)	579通	427通	73.7%
通常学級保護者	30校	2,405通	1,988通	82.7%
特別支援学級保護者	30校	283通	199通	70.3%
小学生(通常学級)	30校	2,405通	1,988通	82.7%

6 調査結果の表示方法

- ・回答割合は各質問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。(無回答を除く)

Ⅱ 調査結果

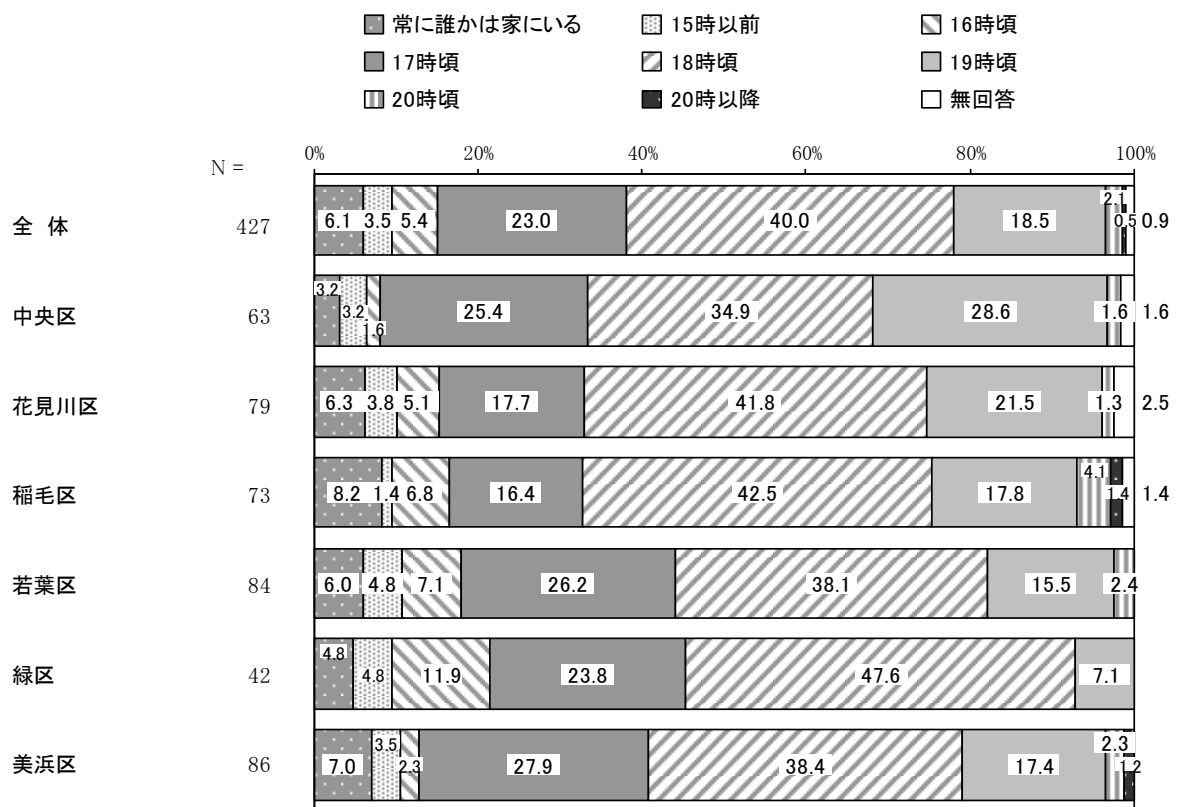
1 未就学児保護者

(1) 現在のご家庭の状況について

Q 1 保護者の方がお仕事等から家に帰ってくるのは何時頃ですか
(あてはまる番号1つに○)

「18 時頃」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「17 時頃」の割合が 23.0%、「19 時頃」の割合が 18.5%となっています。

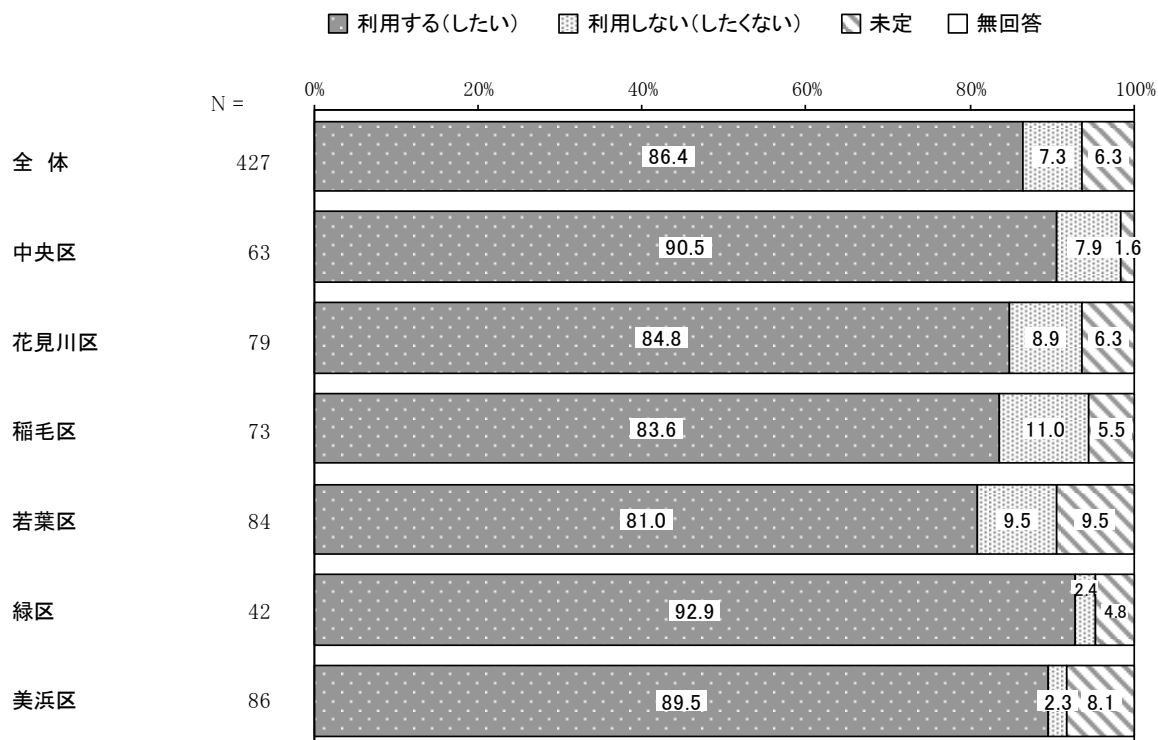
地区別にみると、他に比べ、中央区で「19 時頃」、緑区で「18 時頃」の割合が高くなっています。



(2) 子どもルーム（学童保育）について

Q2 お子様は子どもルームを利用する予定ですか（あてはまる番号1つに○）

「利用する（したい）」の割合が86.4%と高くなっています。
 地区別にみると、緑区、美浜区で「利用しない（したくない）」の割合が低くなっています。



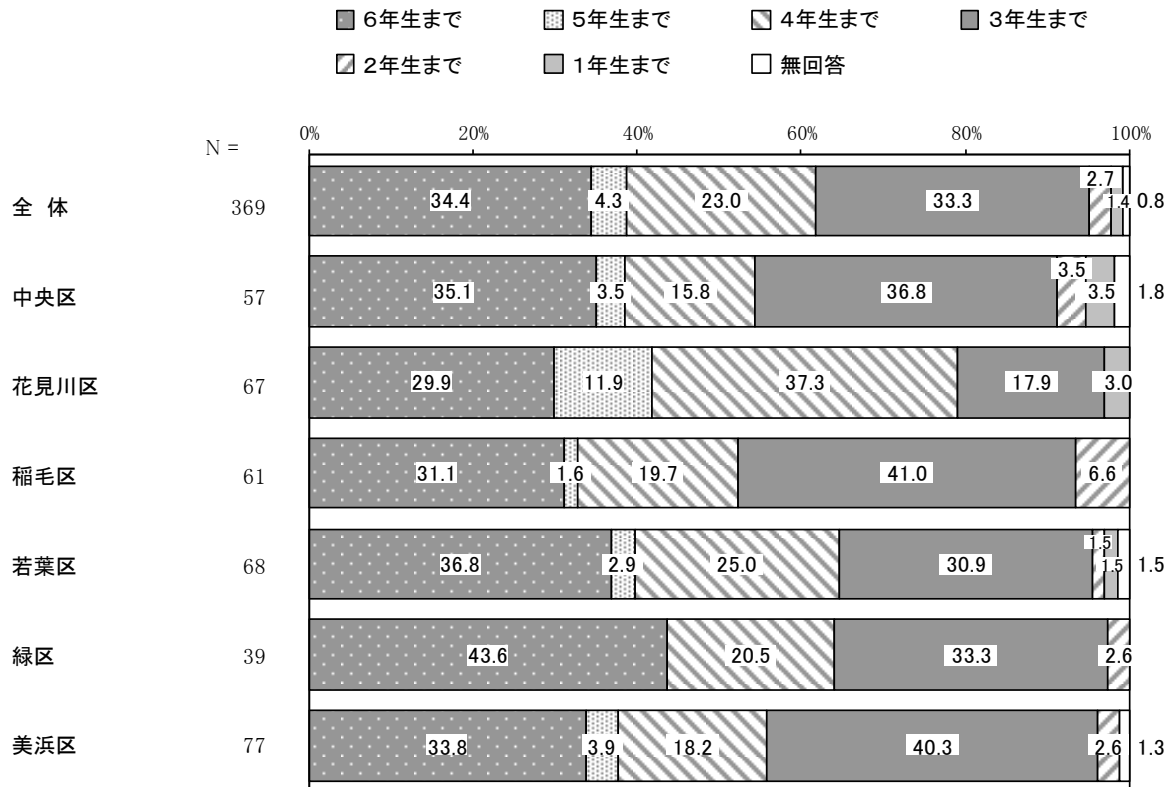
Q2で「1. 利用する（したい）」と回答した方に質問します。

Q2-1 何年生まで利用させることを希望していますか。（あてはまる番号1つに○）

高学年（4年生以上）までの利用ニーズが61.7%あります。

「6年生まで」の割合が34.4%と最も高く、次いで「3年生まで」の割合が33.3%、「4年生まで」の割合が23.0%となっています。

地区別にみると、花見川区で「4年生まで」「5年生まで」、緑区で「6年生まで」の割合が高くなっています。

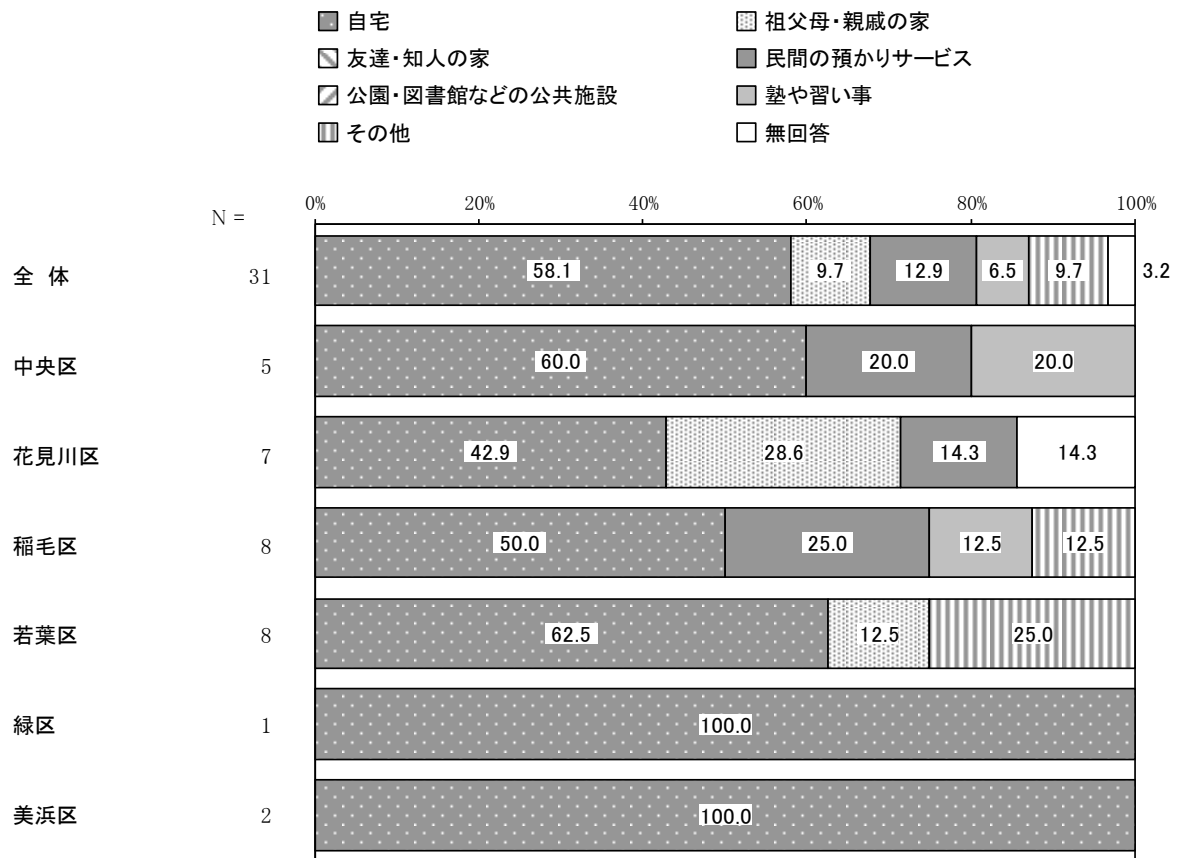


Q2で「2. 利用しない（したくない）」と回答した方に質問します。

Q2-2 お子様は、放課後は主にどこで過ごす予定ですか。

（あてはまる番号1つに○）

「自宅」の割合が58.1%と最も高く、次いで「民間の預かりサービス」の割合が12.9%となっています。

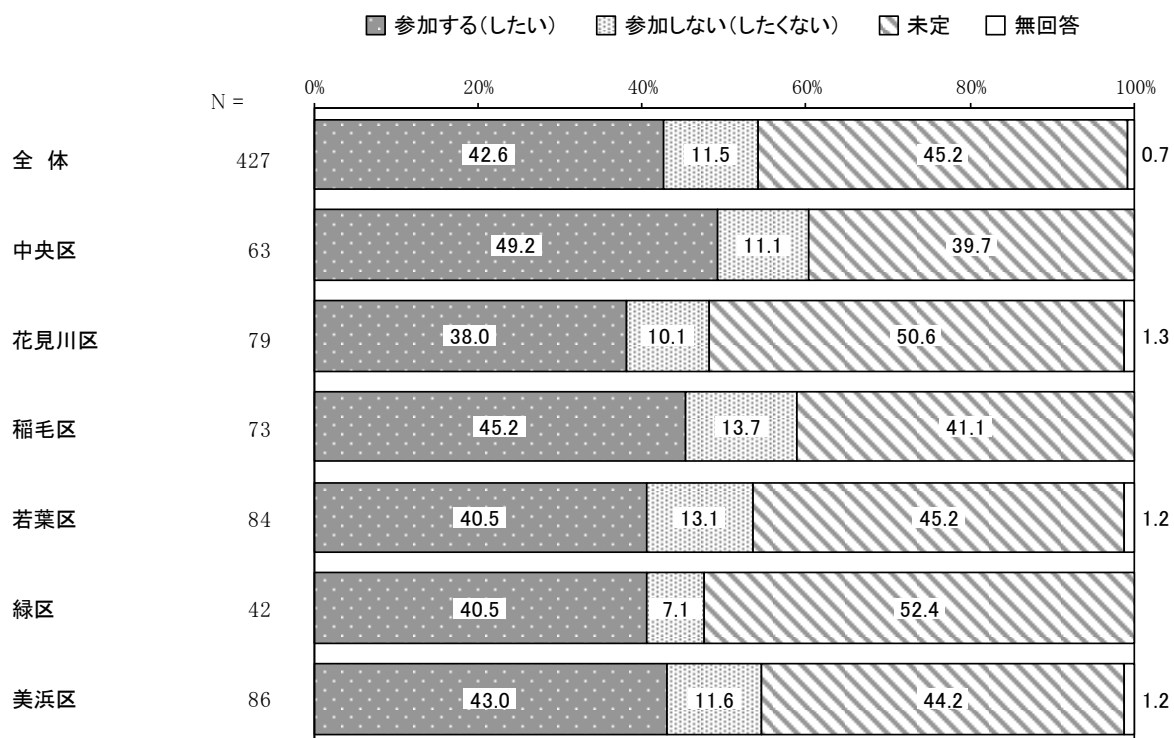


(3) 放課後子ども教室について

Q3 お子様は放課後子ども教室に参加する予定ですか（あてはまる番号1つに○）

「参加する（したい）」の割合が 42.6%、「参加しない（したくない）」の割合が 11.5%となっています。

地区別にみると、中央区で「参加する（したい）」の割合が高くなっています。

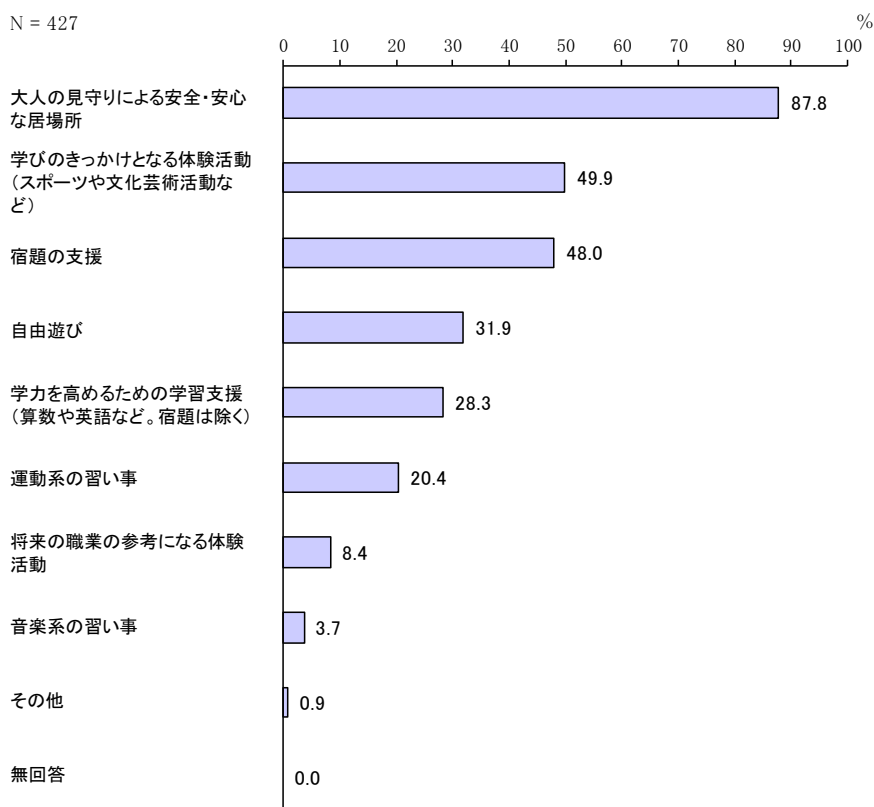


(4) お子様の放課後について

Q 4 お子様の放課後に必要と思うものは次のうちどれですか (あてはまる番号3つまでに○)

「大人の見守りによる安全・安心な居場所」の割合が 87.8%と最も高く、次いで「学びのきっかけとなる体験活動（スポーツや文化芸術活動など）」の割合が 49.9%、「宿題の支援」の割合が 48.0%となっています。

地区別にみると、稲毛区で「将来の職業の参考になる体験活動」、緑区で「学びのきっかけとなる体験活動（スポーツや文化芸術活動など）」「将来の職業の参考になる体験活動」の割合が高くなっています。また、緑区で「自由遊び」の割合が低くなっています。



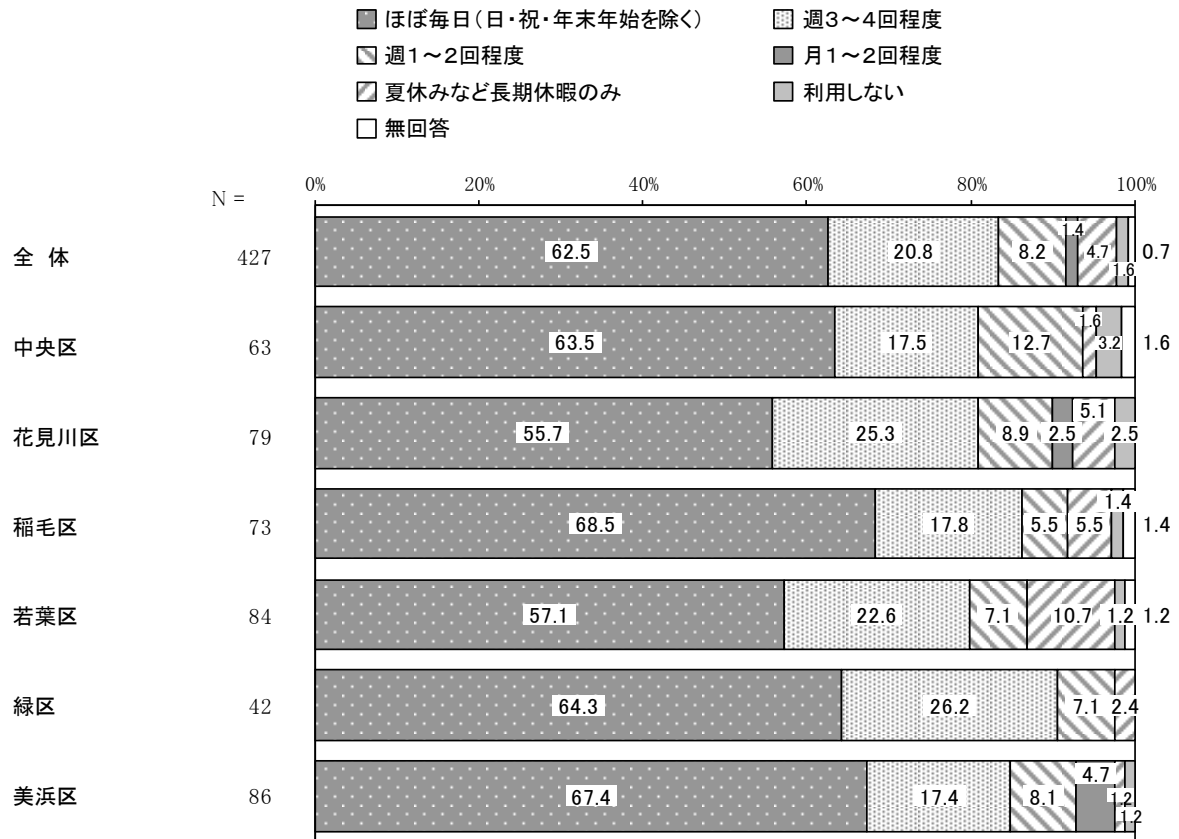
単位：%

区分	有効回答数 (件)	大人の見守りによる安全・安心な居場所	学びのきっかけとなる体験活動 (スポーツや文化芸術活動など)	自由遊び	宿題の支援	学力を高めるための学習支援 (算数や英語など。宿題は除く)	運動系の習い事	音楽系の習い事	将来の職業の参考になる体験活動	その他	無回答
全体	427	87.8	49.9	31.9	48.0	28.3	20.4	3.7	8.4	0.9	—
中央区	63	90.5	46.0	38.1	38.1	28.6	25.4	3.2	6.3	—	—
花見川区	79	83.5	48.1	30.4	49.4	27.8	26.6	2.5	7.6	1.3	—
稲毛区	73	89.0	53.4	35.6	50.7	27.4	11.0	4.1	12.3	4.1	—
若葉区	84	85.7	45.2	31.0	51.2	27.4	23.8	4.8	9.5	—	—
緑区	42	92.9	64.3	16.7	50.0	28.6	19.0	—	11.9	—	—
美浜区	86	88.4	48.8	33.7	47.7	30.2	16.3	5.8	4.7	—	—

**Q 4 - 1 お子様の小学校で放課後子ども教室と子どもルームの一体的な運営が行われるとしたら、利用を希望する頻度は次のうちどれですか。
(あてはまる番号1つに○)**

97.6%の保護者が頻度は異なりますが利用を希望しています。また、62.5%の保護者が「ほぼ毎日（日・祝・年末年始を除く）」利用すると回答しています。

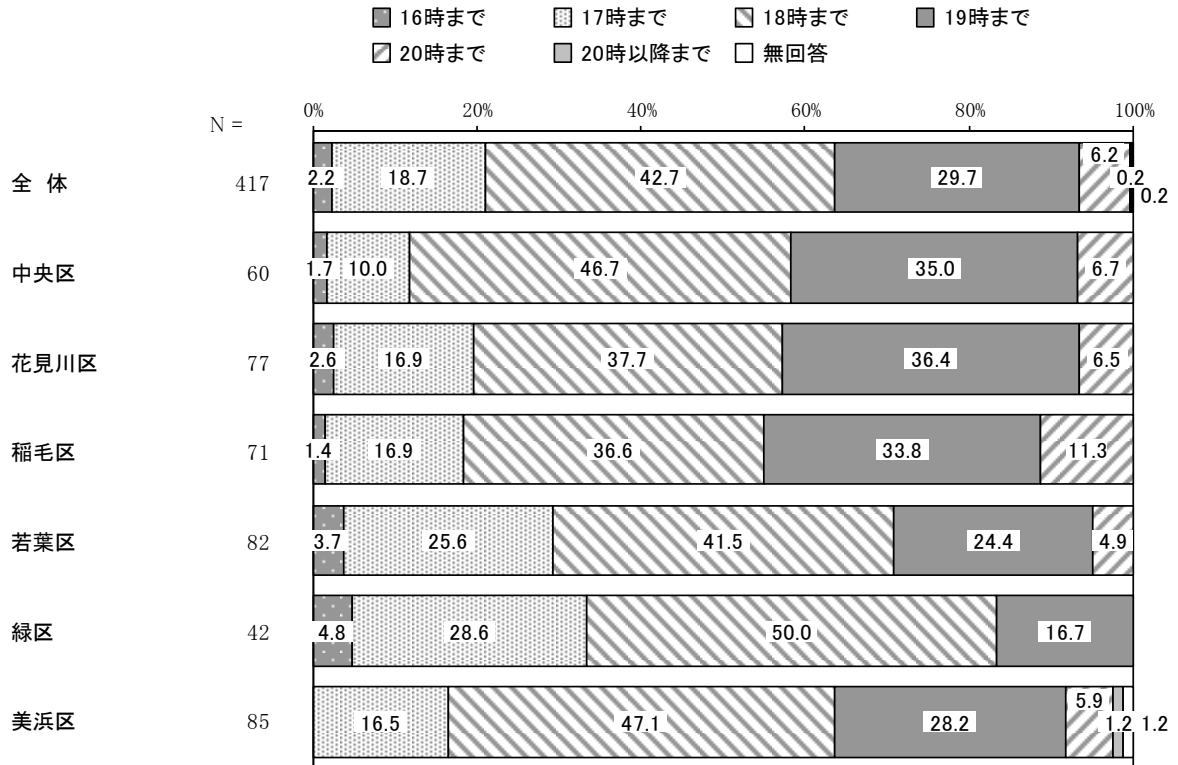
地区別にみると、稲毛区、美浜区で「ほぼ毎日（日・祝・年末年始を除く）」の割合が高くなっています。



Q 4 - 2 放課後子ども教室と子どもルームの一体的な運営を利用する場合、何時までの利用を希望されますか。(あてはまる番号1つに○)

「18時まで」の割合が42.7%と最も高く、次いで「19時まで」の割合が29.7%、「17時まで」の割合が18.7%となっています。

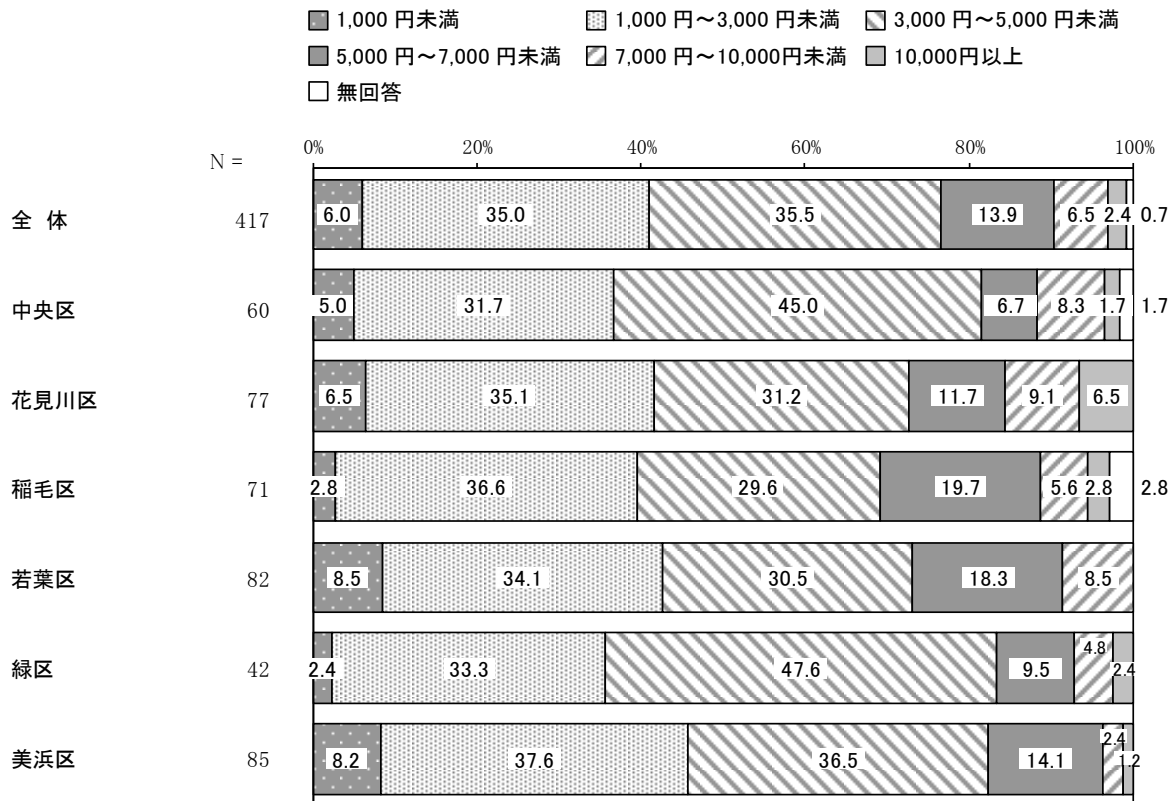
地区別にみると、稲毛区で「20時まで」、若葉区、緑区で「17時まで」の割合が高くなっています。



Q 4 - 3 お子様の小学校で、放課後に企業等による塾・習い事のような継続的なプログラム（週1回程度）が導入され、これに参加するとしたら、負担できる費用（月額）はいくらくらいですか（あてはまる番号1つに○）

「3,000円～5,000円未満」の割合が35.5%と最も高く、次いで「1,000円～3,000円未満」の割合が35.0%、「5,000円～7,000円未満」の割合が13.9%となっています。

地区別にみると、中央区、緑区で「3,000円～5,000円未満」、稲毛区、若葉区で「5,000円～7,000円未満」の割合が高くなっています。

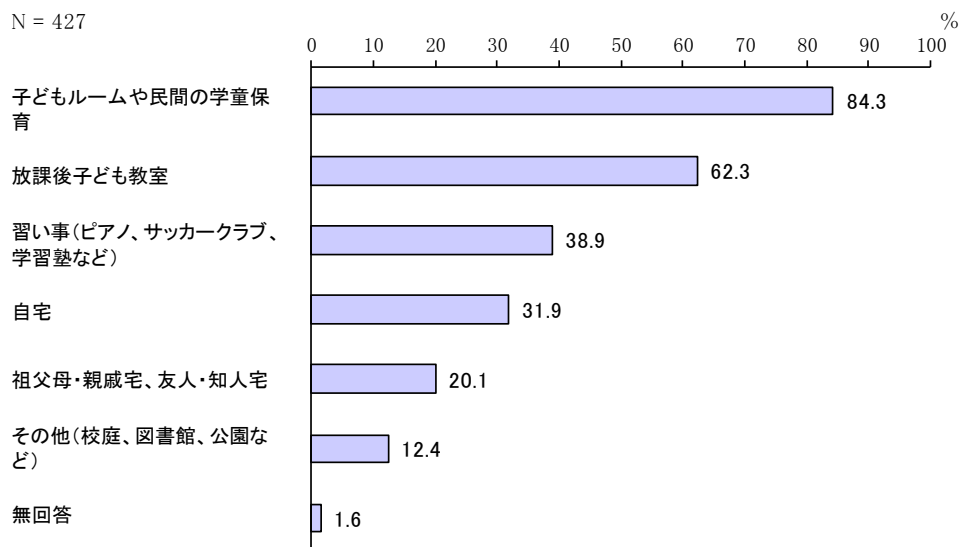


Q5 お子さんが小学校に入学した後、放課後（平日の授業終了後）の時間を、どのような場所で過ごさせたいですか。（低学年、高学年のそれぞれ3つまでに○）

低学年在籍中

「子どもルームや民間の学童保育」の割合が84.3%と最も高く、次いで「放課後子ども教室」の割合が62.3%、「習い事（ピアノ、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が38.9%となっています。

地区別にみると、中央区で「自宅」「習い事（ピアノ、サッカークラブ、学習塾など）」「その他（校庭、図書館、公園など）」、稲毛区で「その他（校庭、図書館、公園など）」、緑区で「習い事（ピアノ、サッカークラブ、学習塾など）」「放課後子ども教室」「子どもルームや民間の学童保育」の割合が高くなっています。



単位：%

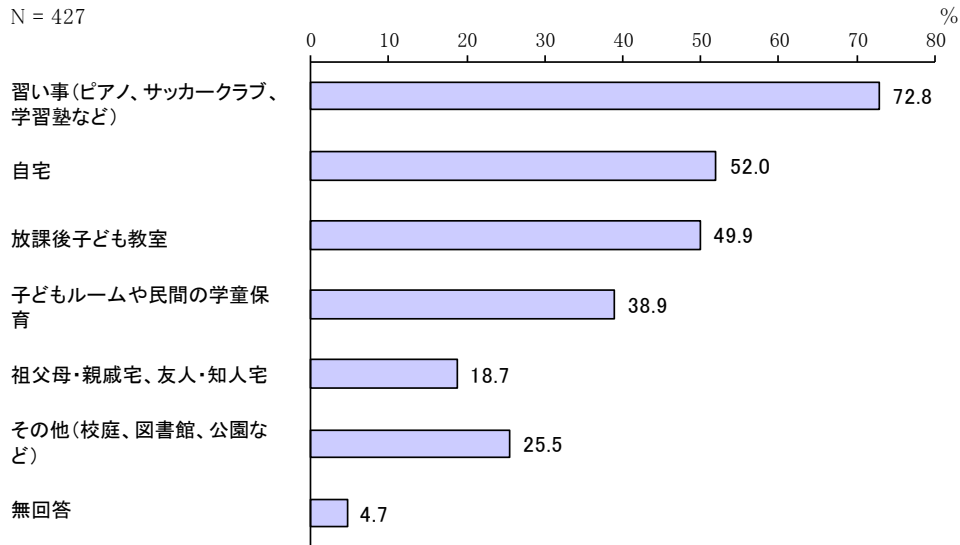
区分	有効回答数(件)	自宅	祖父母・親戚宅、友人・知人宅	習い事(ピアノ、サッカークラブ、学習塾など)	放課後子ども教室	子どもルームや民間の学童保育	その他(校庭、図書館、公園など)	無回答
全体	427	31.9	20.1	38.9	62.3	84.3	12.4	1.6
中央区	63	39.7	12.7	42.9	57.1	77.8	17.5	1.6
花見川区	79	36.7	24.1	35.4	63.3	86.1	11.4	2.5
稲毛区	73	30.1	19.2	38.4	68.5	86.3	16.4	1.4
若葉区	84	34.5	22.6	38.1	59.5	83.3	10.7	—
緑区	42	26.2	14.3	45.2	73.8	90.5	4.8	—
美浜区	86	23.3	23.3	37.2	57.0	83.7	11.6	3.5

高学年在籍中

「習い事（ピアノ、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が72.8%と最も高く、次いで「自宅」の割合が52.0%、「放課後子ども教室」の割合が49.9%となっています。

低学年と比べ「習い事（ピアノ、サッカークラブ、学習塾など）」や「自宅」の割合が高くなり、「子どもルームや民間の学童保育」の割合は低くなります。

地区別にみると、花見川区で「祖父母・親戚宅、友人・知人宅」、緑区で「放課後子ども教室」の割合が高くなっています。



単位：%

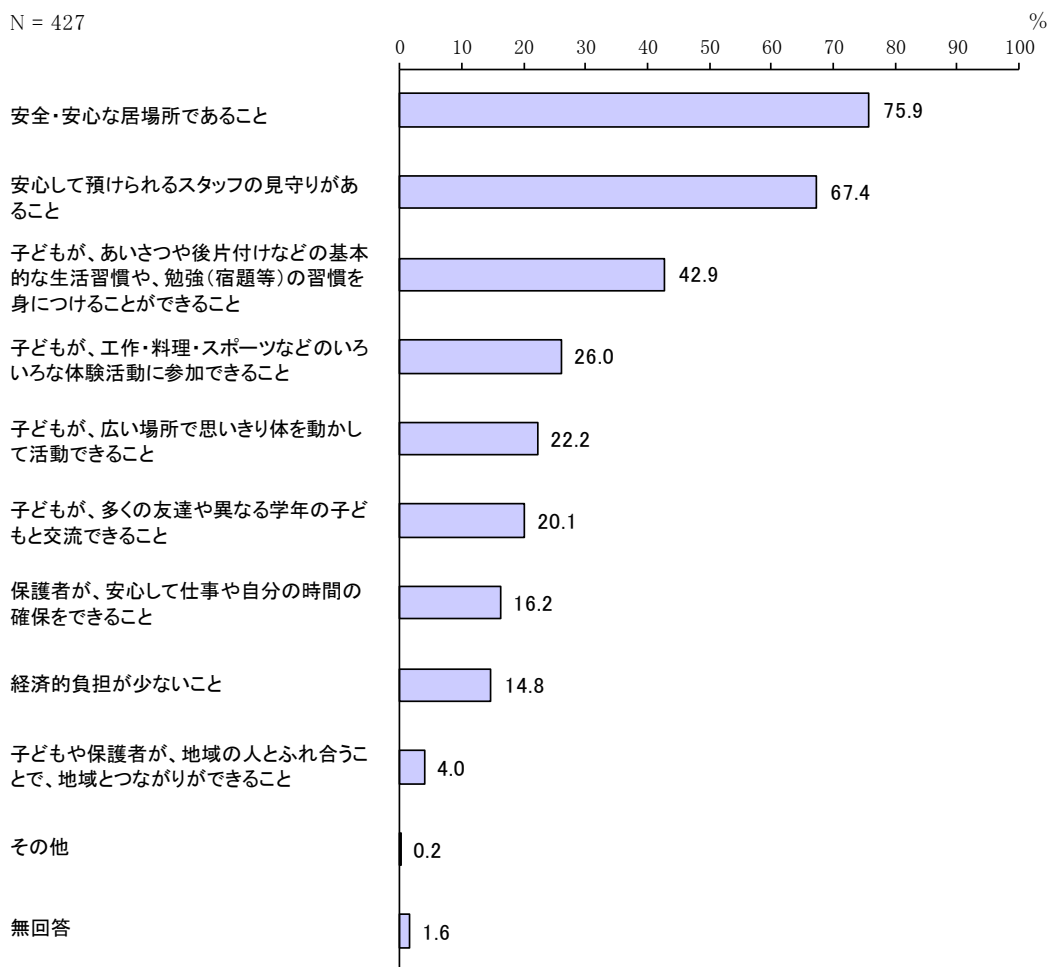
区分	有効回答数(件)	自宅	祖父母・親戚宅、友人・知人宅	習い事(ピアノ、サッカークラブ、学習塾など)	放課後子ども教室	子どもルームや民間の学童保育	その他(校庭、図書館、公園など)	無回答
全体	427	52.0	18.7	72.8	49.9	38.9	25.5	4.7
中央区	63	60.3	11.1	77.8	34.9	25.4	28.6	9.5
花見川区	79	51.9	26.6	65.8	53.2	45.6	24.1	5.1
稲毛区	73	58.9	20.5	72.6	54.8	37.0	31.5	2.7
若葉区	84	47.6	17.9	76.2	48.8	40.5	23.8	1.2
緑区	42	52.4	9.5	76.2	61.9	50.0	21.4	2.4
美浜区	86	44.2	20.9	70.9	48.8	37.2	23.3	7.0

(5) 千葉市の放課後施策に期待することについて

Q 6 放課後子ども教室や子どもルームに期待することは何ですか。 (あてはまる番号3つまでに○)

「安全・安心な居場所であること」の割合が75.9%と最も高く、次いで「安心して預けられるスタッフの見守りがあること」の割合が67.4%、「子どもが、あいさつや後片付けなどの基本的な生活習慣や、勉強（宿題等）の習慣を身につけることができること」の割合が42.9%となっています。

地区別にみると、中央区で「子どもが、広い場所で思いきり体を動かして活動できること」、稲毛区、美浜区で「子どもが、工作・料理・スポーツなどのいろいろな体験活動に参加できること」、若葉区で「経済的負担が少ないこと」、緑区で「保護者が、安心して仕事や自分の時間の確保をできること」の割合が高くなっています。



区分	有効回答数(件)	安全・安心な居場所であること	安心して預けられるスタッフの見守りがあること	子どもが、多くの友達や異なる学年の子どもと交流できること	子どもが、工作・料理・スポーツなどのいろいろな体験活動に参加できること	子どもや保護者が、地域の人とふれ合うことで、地域とつながることができること	子どもが、広い場所で思いきり体を動かして活動できること	子どもが、あいさつや後片付けなどの基本的な生活習慣や、勉強(宿題等)の習慣を身につけることができること	保護者が、安心して仕事や自分の時間の確保をできること	経済的負担が少ないこと	その他	無回答
全 体	427	75.9	67.4	20.1	26.0	4.0	22.2	42.9	16.2	14.8	0.2	1.6
中央区	63	79.4	74.6	17.5	25.4	—	30.2	30.2	19.0	11.1	—	1.6
花見川区	79	74.7	64.6	22.8	25.3	5.1	20.3	49.4	16.5	8.9	—	2.5
稲毛区	73	71.2	69.9	23.3	30.1	5.5	17.8	45.2	12.3	12.3	1.4	1.4
若葉区	84	81.0	64.3	20.2	22.6	4.8	15.5	39.3	15.5	26.2	—	2.4
緑区	42	66.7	71.4	23.8	21.4	4.8	23.8	47.6	23.8	11.9	—	—
美浜区	86	77.9	64.0	15.1	29.1	3.5	27.9	45.3	14.0	15.1	—	1.2

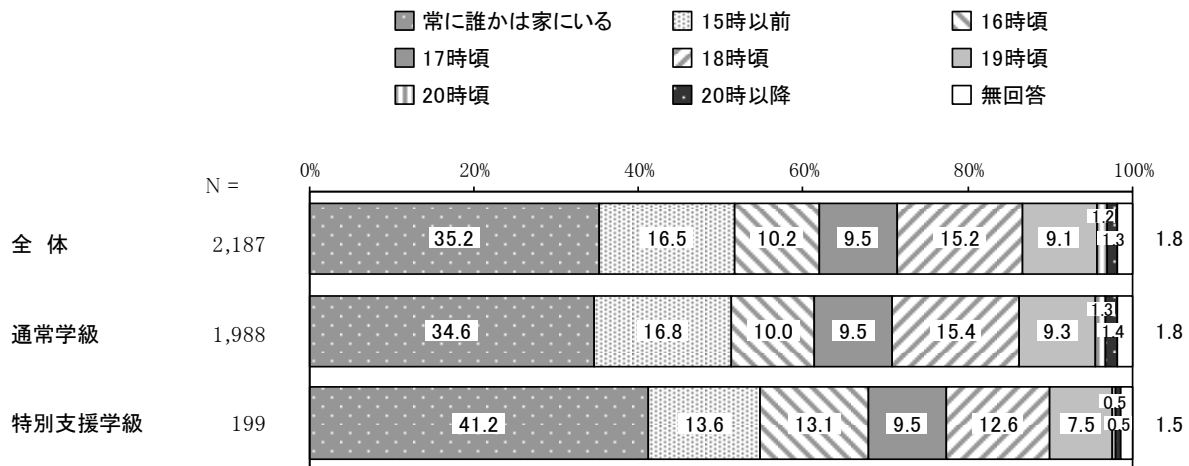
2 小学生保護者

(1) 家庭の状況について

Q 1 保護者の方がお仕事等から家に帰ってくるのは何時頃ですか。
(あてはまる番号1つに○)

「常に誰かは家にいる」の割合が35.2%と最も高く、次いで「15時以前」の割合が16.5%、「18時頃」の割合が15.2%となっています。

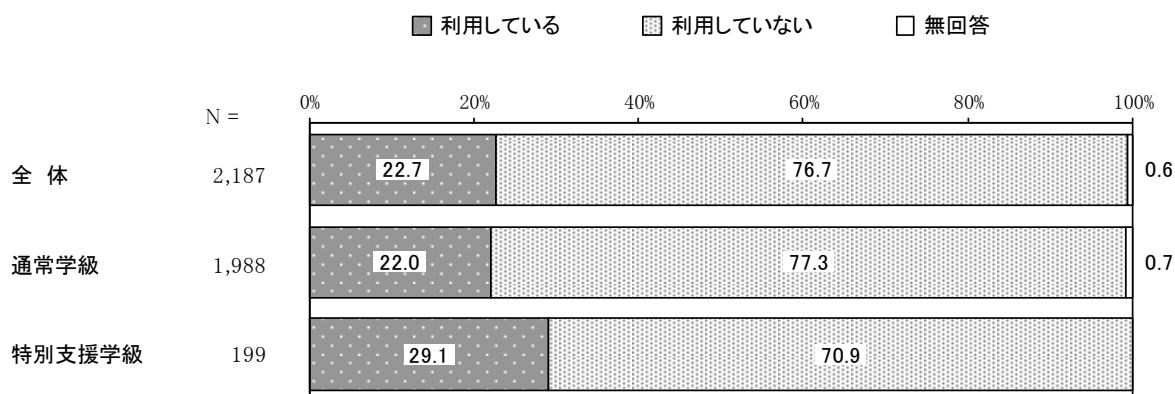
学級別で見ると、特別支援学級で「常に誰かは家にいる」の割合が高くなっています。



(2) 子どもルーム（学童保育）について

Q2 お子様は子どもルームを利用していますか（あてはまる番号1つに○）

「利用している」の割合が22.7%、「利用していない」の割合が76.7%となっています。
学級別でみると、特別支援学級で「利用している」の割合が高くなっています。



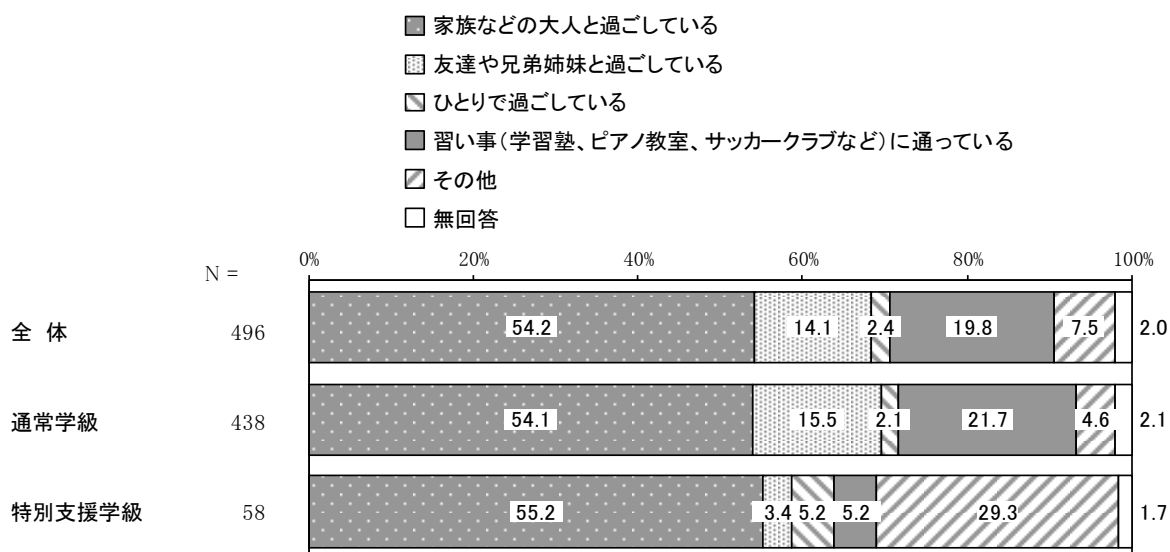
Q2で「1. 利用している」と回答した方に質問します。

Q2-1 子どもルームを利用しない日はどのように過ごしていますか。主な過ごし方を2つまで順位をつけて□に番号を記入してください。

1 番目

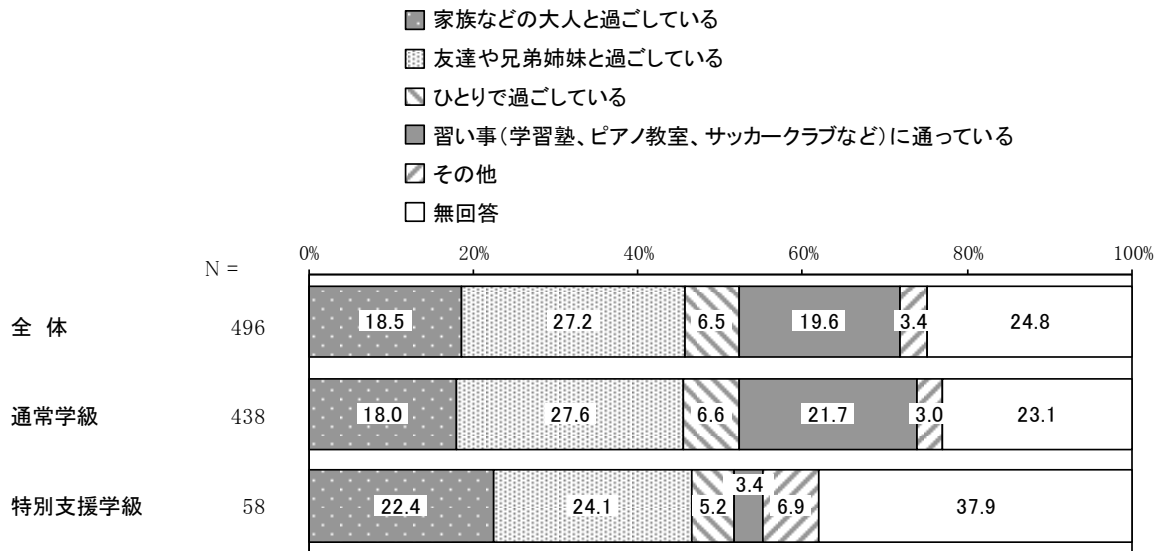
「家族などの大人と過ごしている」の割合が54.2%と最も高く、次いで「習い事（学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど）に通っている」の割合が19.8%、「友達や兄弟姉妹と過ごしている」の割合が14.1%となっています。

学級別でみると、通常学級で「友達や兄弟姉妹と過ごしている」「習い事（学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど）に通っている」の割合が高くなっています。



2 番目

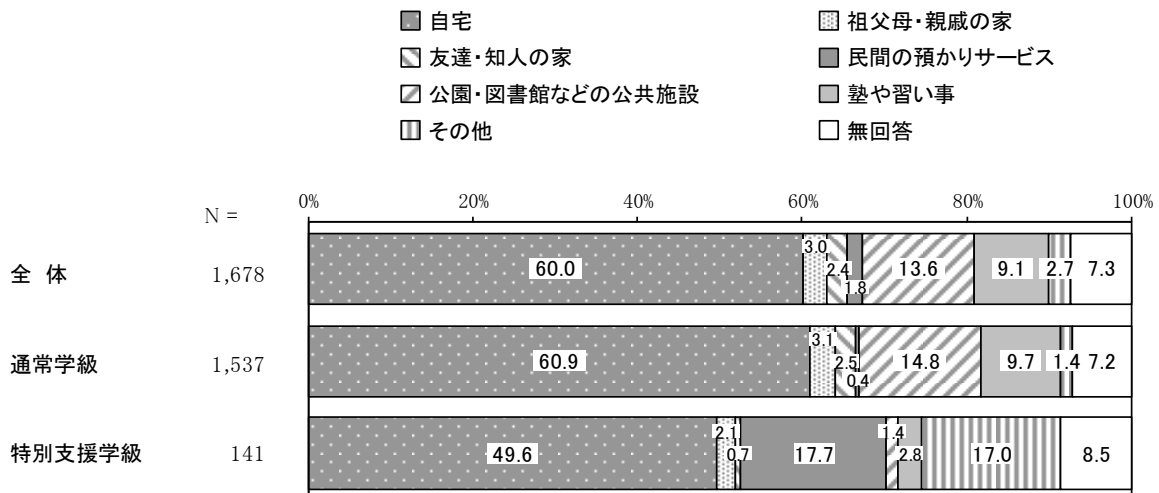
「友達や兄弟姉妹と過ごしている」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「習い事（学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど）に通っている」の割合が 19.6%、「家族などの大人と過ごしている」の割合が 18.5%となっています。



Q2で「2. 利用していない」と回答した方に質問します。
 Q2-2 お子様は、放課後は主にどこで過ごしていますか。
 (あてはまる番号1つに○)

「自宅」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「公園・図書館などの公共施設」の割合が 13.6%となっています。

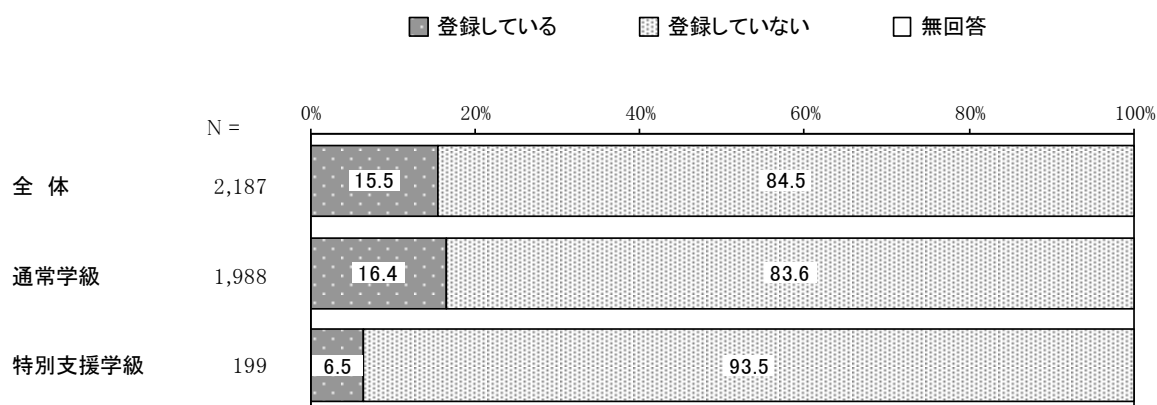
学級別で見ると、通常学級で「自宅」「公園・図書館などの公共施設」「塾や習い事」の割合が高く、特別支援学級で「民間の預かりサービス」の割合が高くなっています。



(3) 放課後子ども教室について

Q3 お子様は放課後子ども教室に登録していますか（あてはまる番号1つに○）

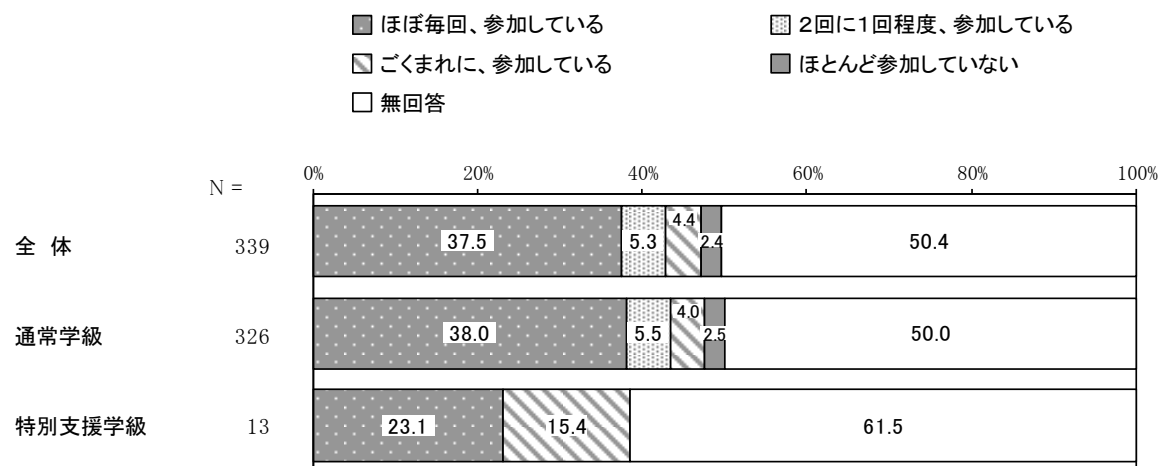
「登録している」の割合が通常学級では16.4%、特別支援学級では6.5%となっています。



Q3で「1. 登録している」と回答した方に質問します。

Q3-1 お子様は放課後子ども教室にどのくらい参加していますか。（あてはまる番号1つに○）

「ほぼ毎回、参加している」の割合が37.5%と最も高くなっています。



Q3で「2. 登録していない」と回答した方に質問します。

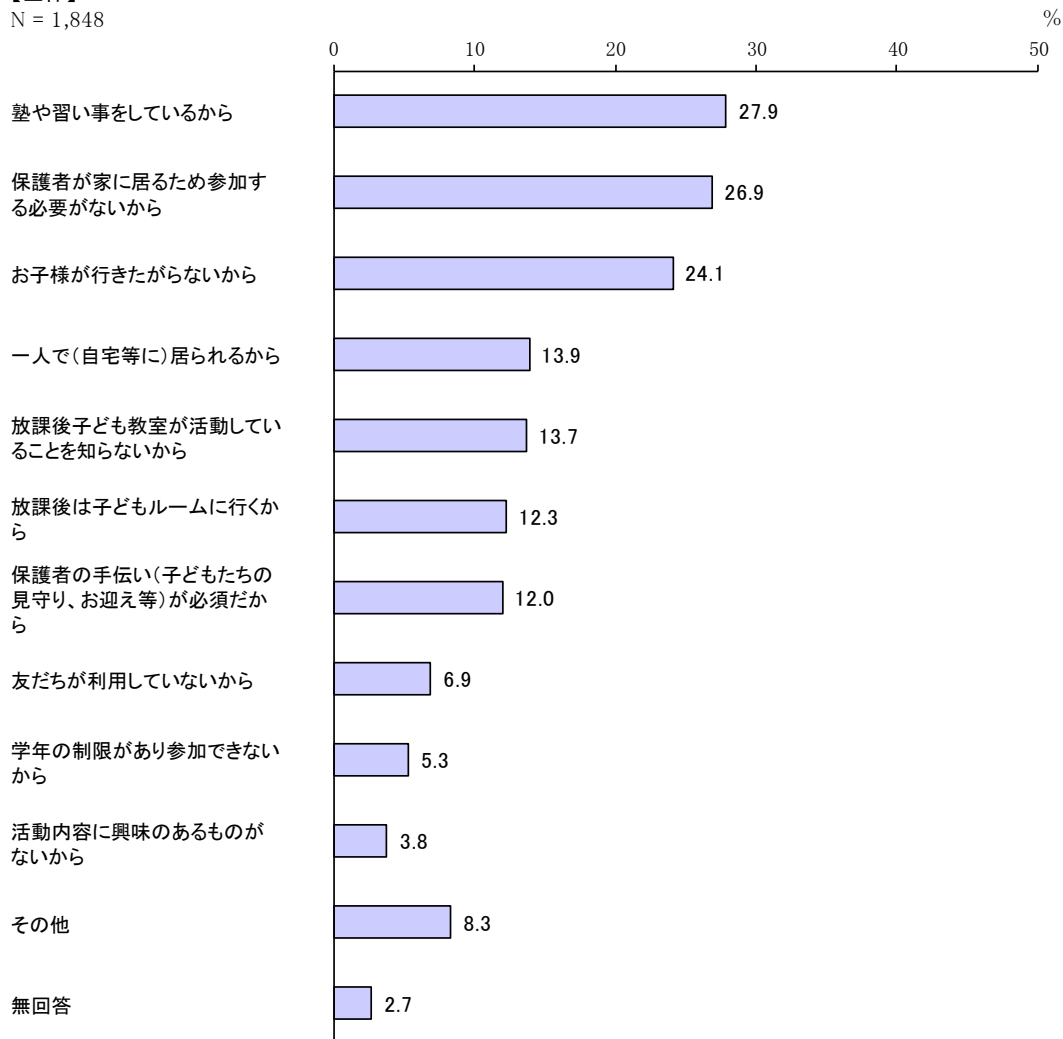
Q3-2 登録しない理由は次のうちどれですか（あてはまる番号3つまでに○）

「塾や習い事をしているから」の割合が27.9%と最も高く、次いで「保護者が家に居るため参加する必要がないから」の割合が26.9%、「お子様が行きたがらないから」の割合が24.1%となっています。

学級別で見ると、通常学級で「お子様が行きたがらないから」「友だちが利用していないから」「塾や習い事をしているから」「一人で（自宅等に）居られるから」の割合が高く、特別支援学級で「放課後は子どもルームに行くから」の割合が高くなっています。

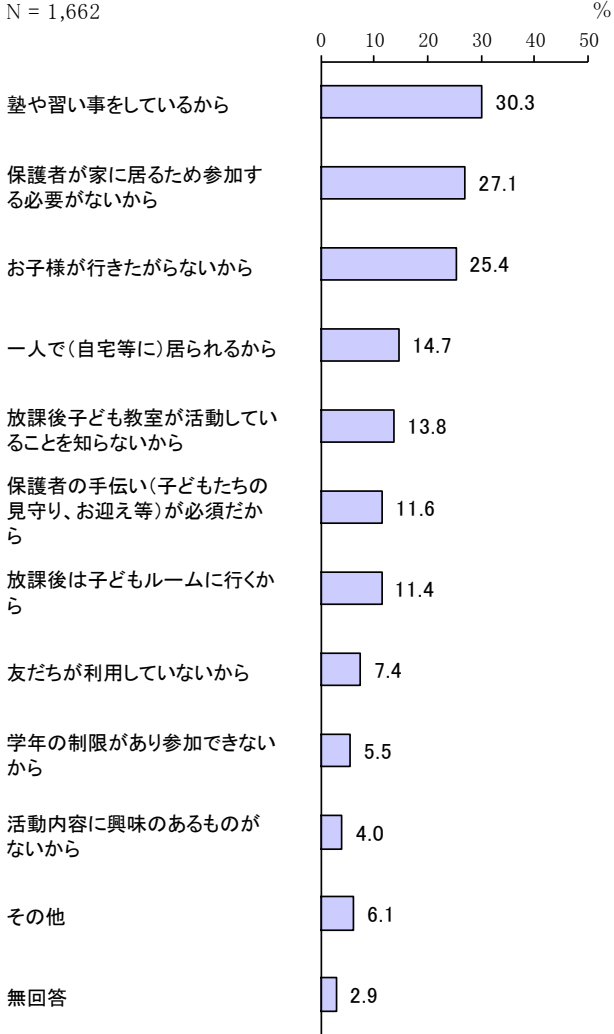
【全体】

N = 1,848



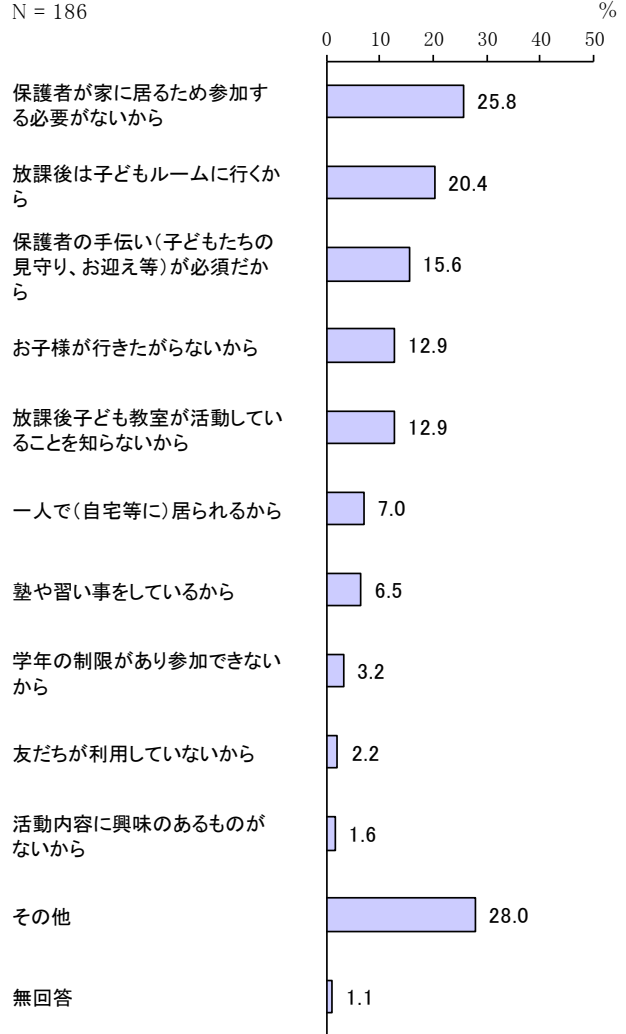
【通常学級】

N = 1,662



【特別支援学級】

N = 186



(4) 子どもの放課後について

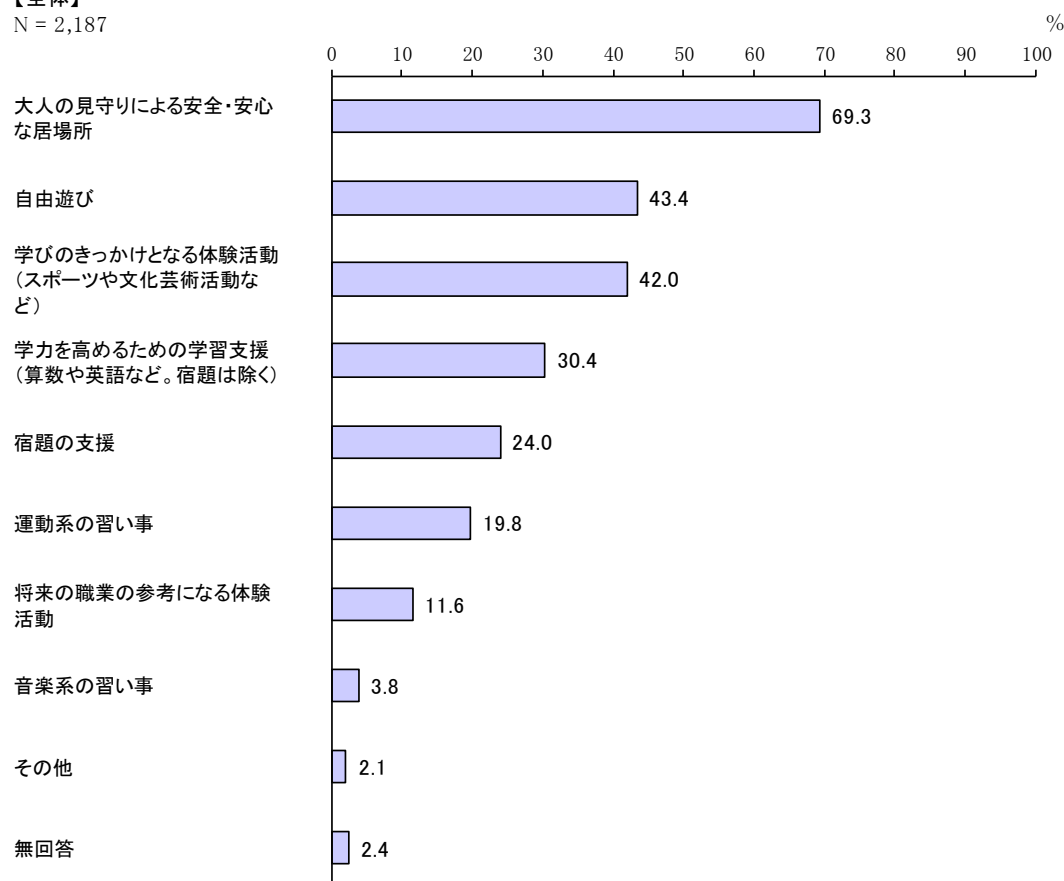
Q 4 お子様の放課後に必要と思うものは次のうちどれですか。
(あてはまる番号3つまでに○)

「大人の見守りによる安全・安心な居場所」の割合が69.3%と最も高く、次いで「自由遊び」の割合が43.4%、「学びのきっかけとなる体験活動（スポーツや文化芸術活動など）」の割合が42.0%となっています。

学級別で見ると、通常学級で「自由遊び」「学力を高めるための学習支援（算数や英語など。宿題は除く）」「運動系の習い事」の割合が高く、特別支援学級で「大人の見守りによる安全・安心な居場所」「将来の職業の参考になる体験活動」の割合が高くなっています。

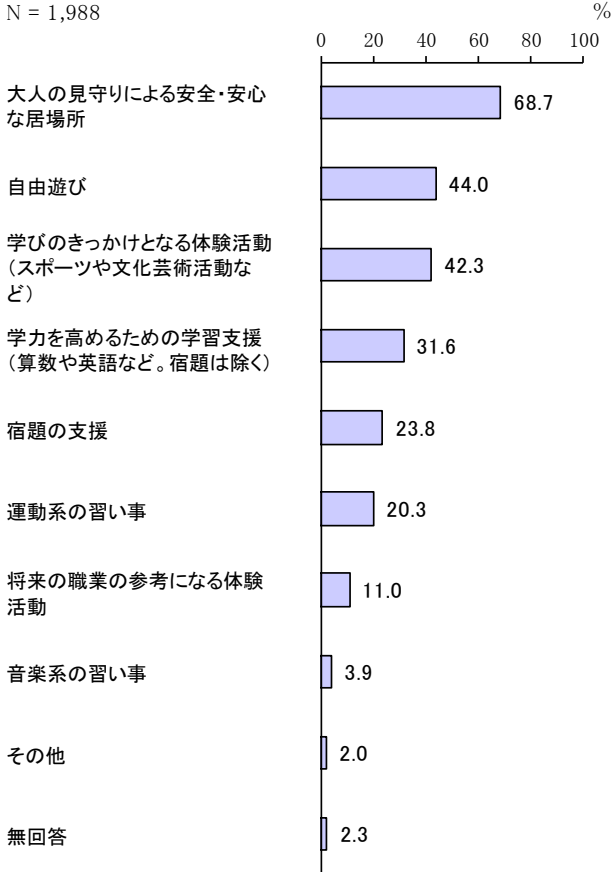
【全体】

N = 2,187



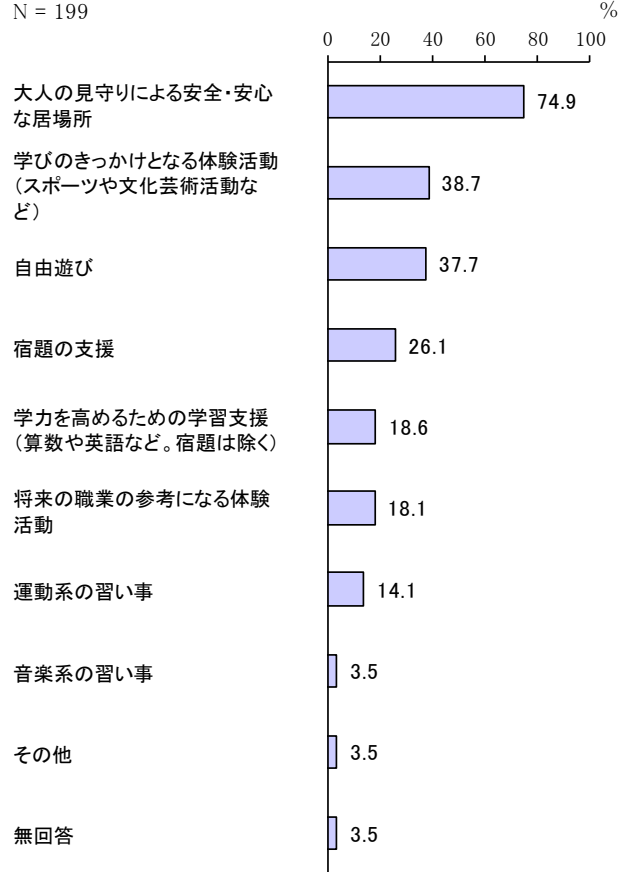
【通常学級】

N = 1,988



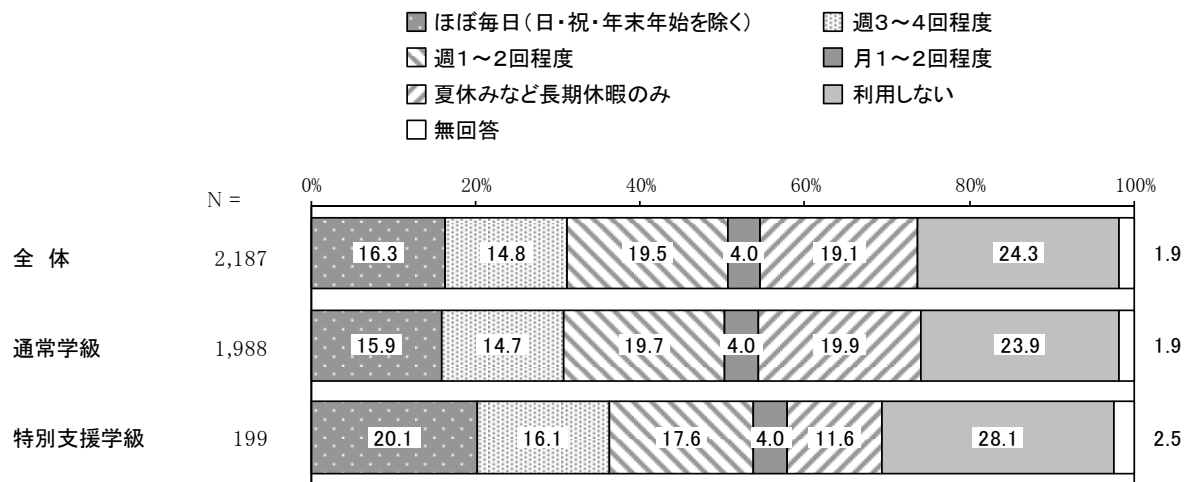
【特別支援学級】

N = 199



Q 4 - 1 お子様の小学校で放課後子ども教室と子どもルームの一体的な運営が行われるとしたら、利用を希望する頻度は次のうちどれですか。
(あてはまる番号1つに○)

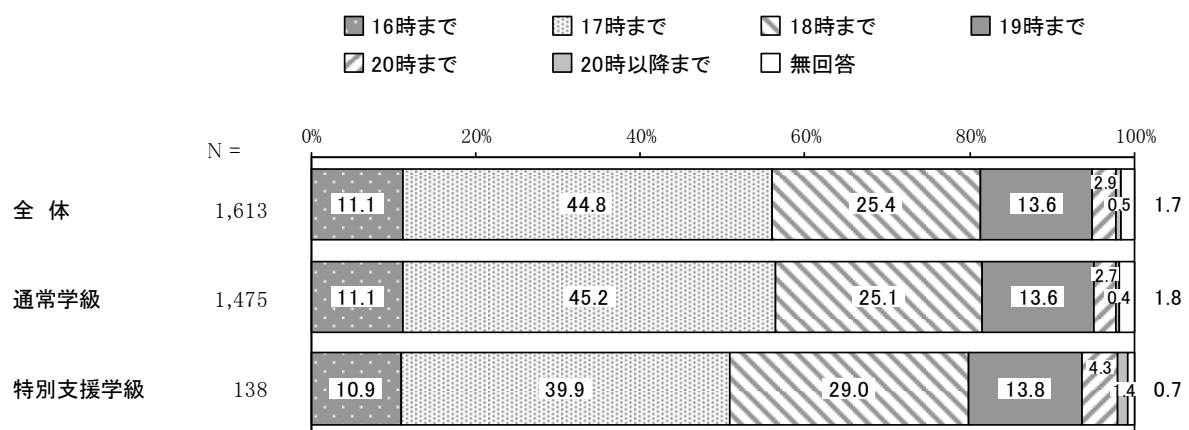
頻度は異なりますが利用を希望する保護者が73.8%います。
 学級別で見ると、通常学級で「夏休みなど長期休暇のみ」の割合が高くなっています。



Q 4 - 1で「1」～「5」と回答した方に質問します。
Q 4 - 2 放課後子ども教室と子どもルームの一体的な運営を利用する場合、何時までの利用を希望されますか。(あてはまる番号1つに○)

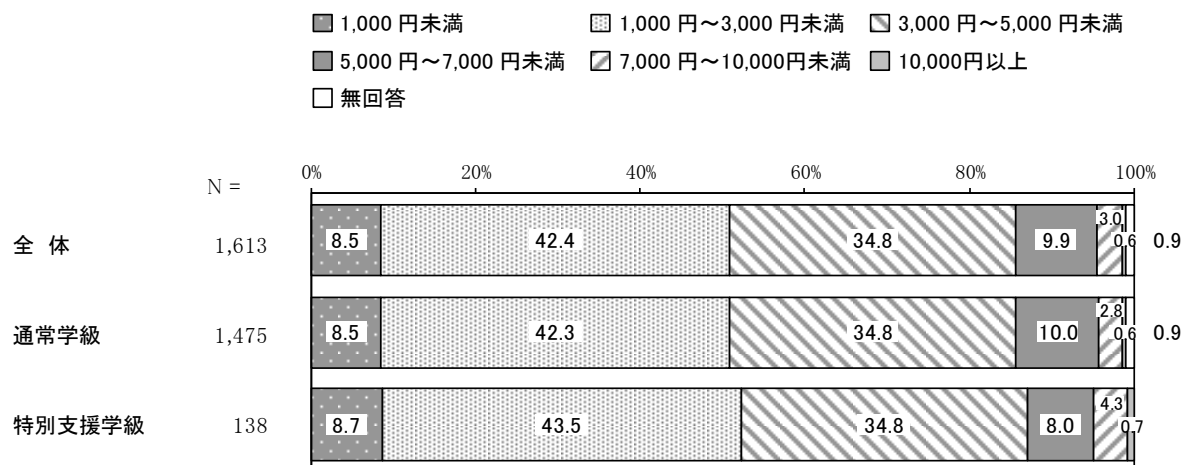
「17時まで」の割合が44.8%と最も高く、次いで「18時まで」の割合が25.4%、「19時まで」の割合が13.6%となっています。

学級別で見ると、通常学級で「17時まで」の割合が高くなっています。



Q 4 - 3 お子様の小学校で、放課後に企業等による塾・習い事のような継続的なプログラム（週1回程度）が導入され、これに参加するとしたら、負担できる費用（月額）はいくらくらいですか（あてはまる番号1つに○）

「1,000円～3,000円未満」の割合が42.4%と最も高く、次いで「3,000円～5,000円未満」の割合が34.8%となっています。

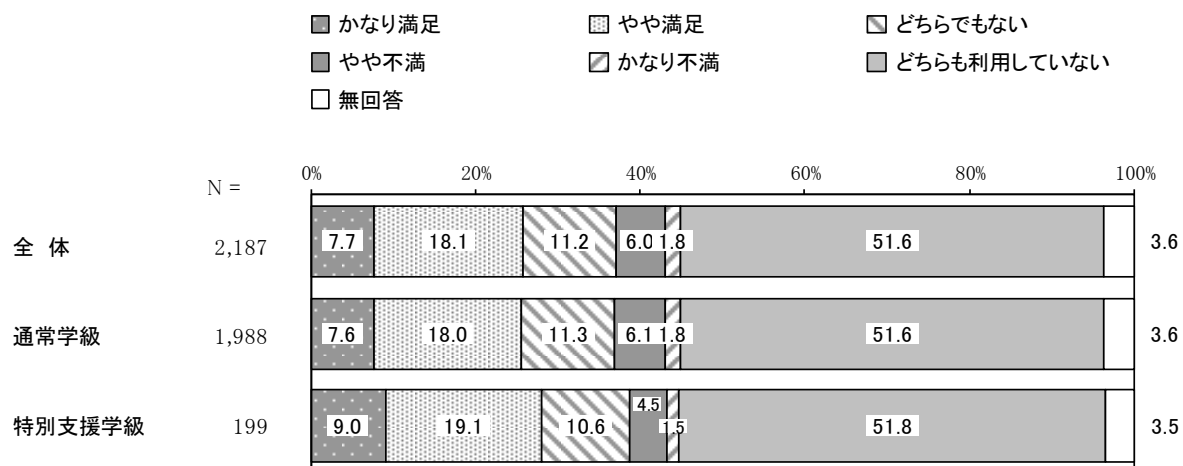


(5) 千葉市の放課後施策のよいところや問題点について

Q5 放課後子ども教室や子どもルームの満足度はどのくらいですか。
(あてはまる番号1つに○)

「かなり満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が25.8%、「どちらでもない」の割合が11.2%、「やや不満」と「かなり不満」をあわせた“不満”の割合が7.8%となっています。

学級による大きな差異はみられません。



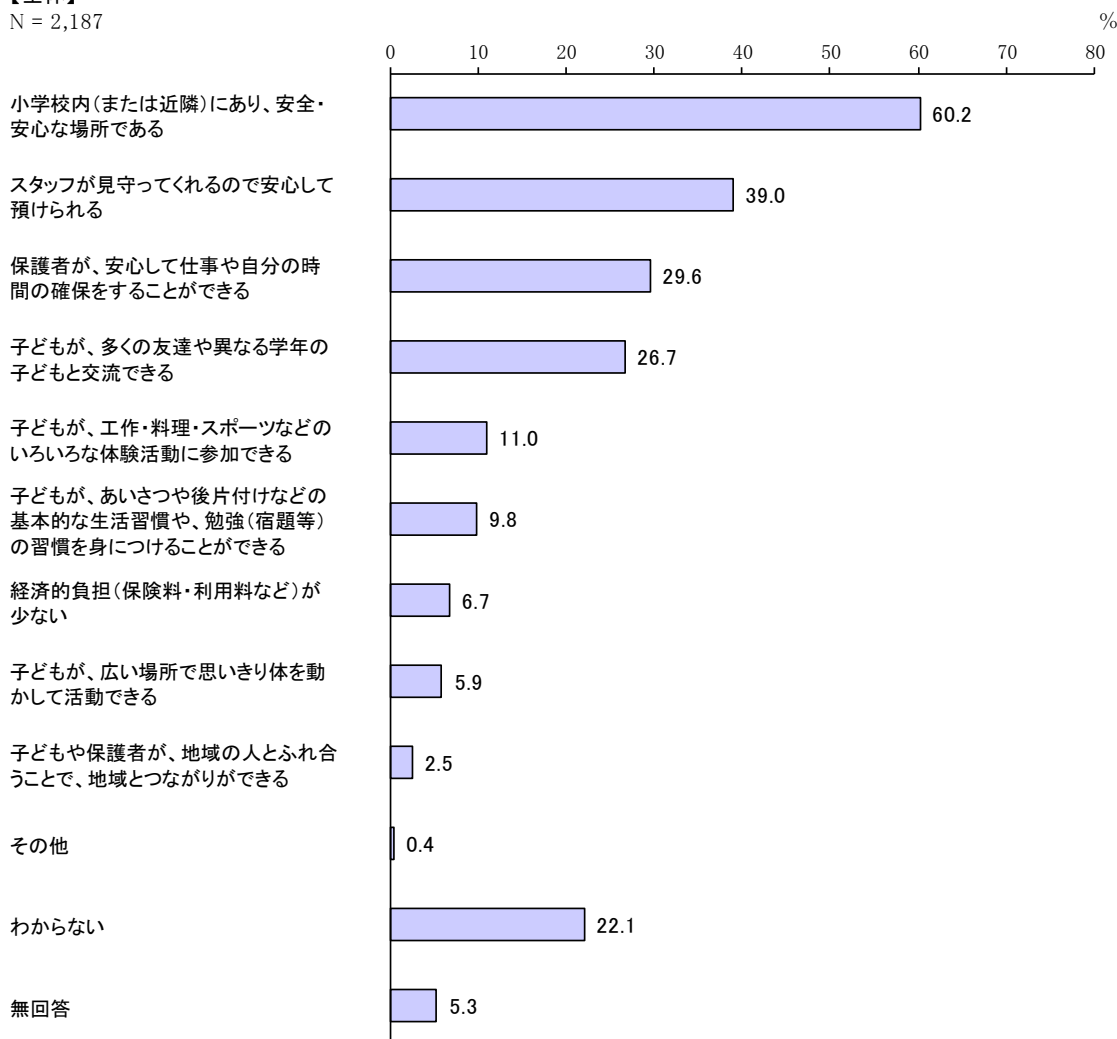
Q5-1 放課後子ども教室や子どもルームのよいところは何ですか。
(あてはまる番号3つまでに○)

「小学校内（または近隣）にあり、安全・安心な場所である」の割合が60.2%と最も高く、次いで「スタッフが見守ってくれるので安心して預けられる」の割合が39.0%、「保護者が、安心して仕事や自分の時間の確保をすることができる」の割合が29.6%となっています。

学級別でみると、特別支援学級で「保護者が、安心して仕事や自分の時間の確保をすることができる」の割合が高くなっています。

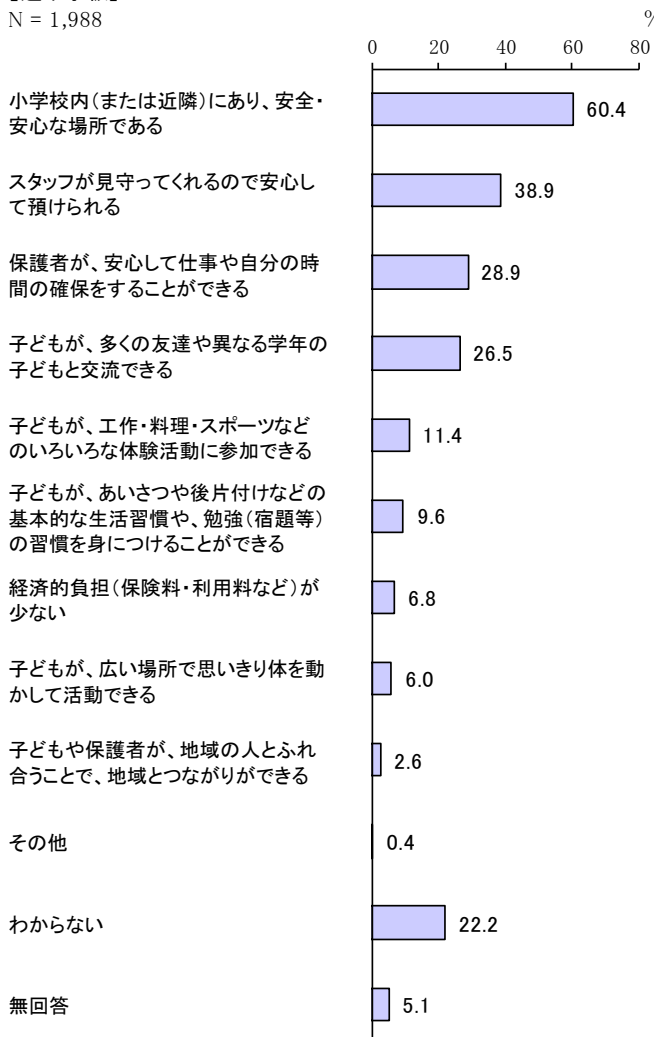
【全体】

N = 2,187



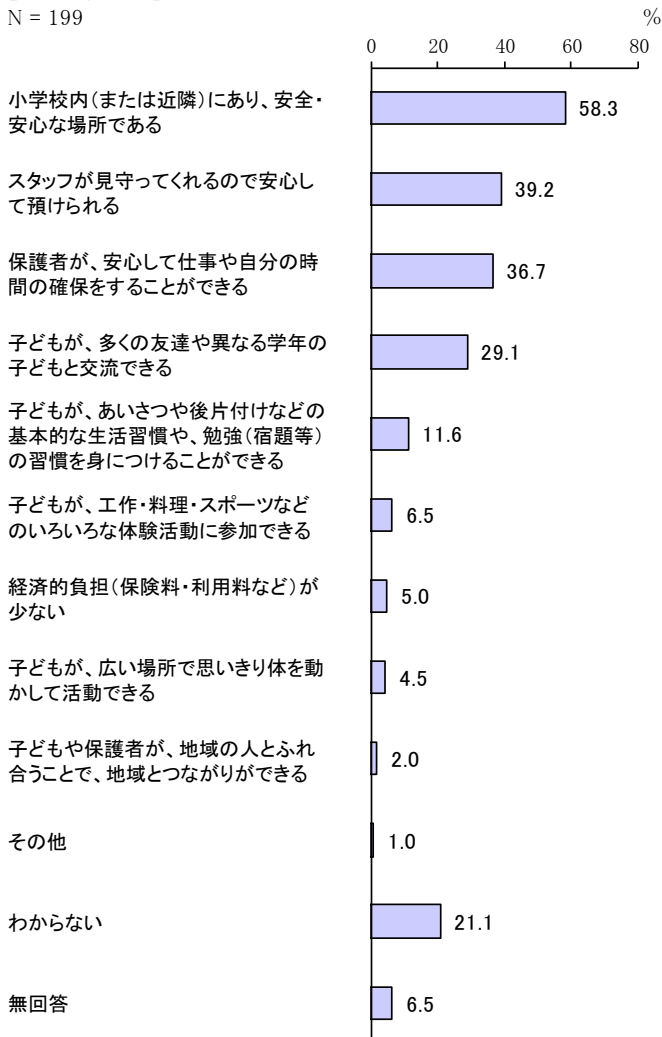
【通常学級】

N = 1,988



【特別支援学級】

N = 199



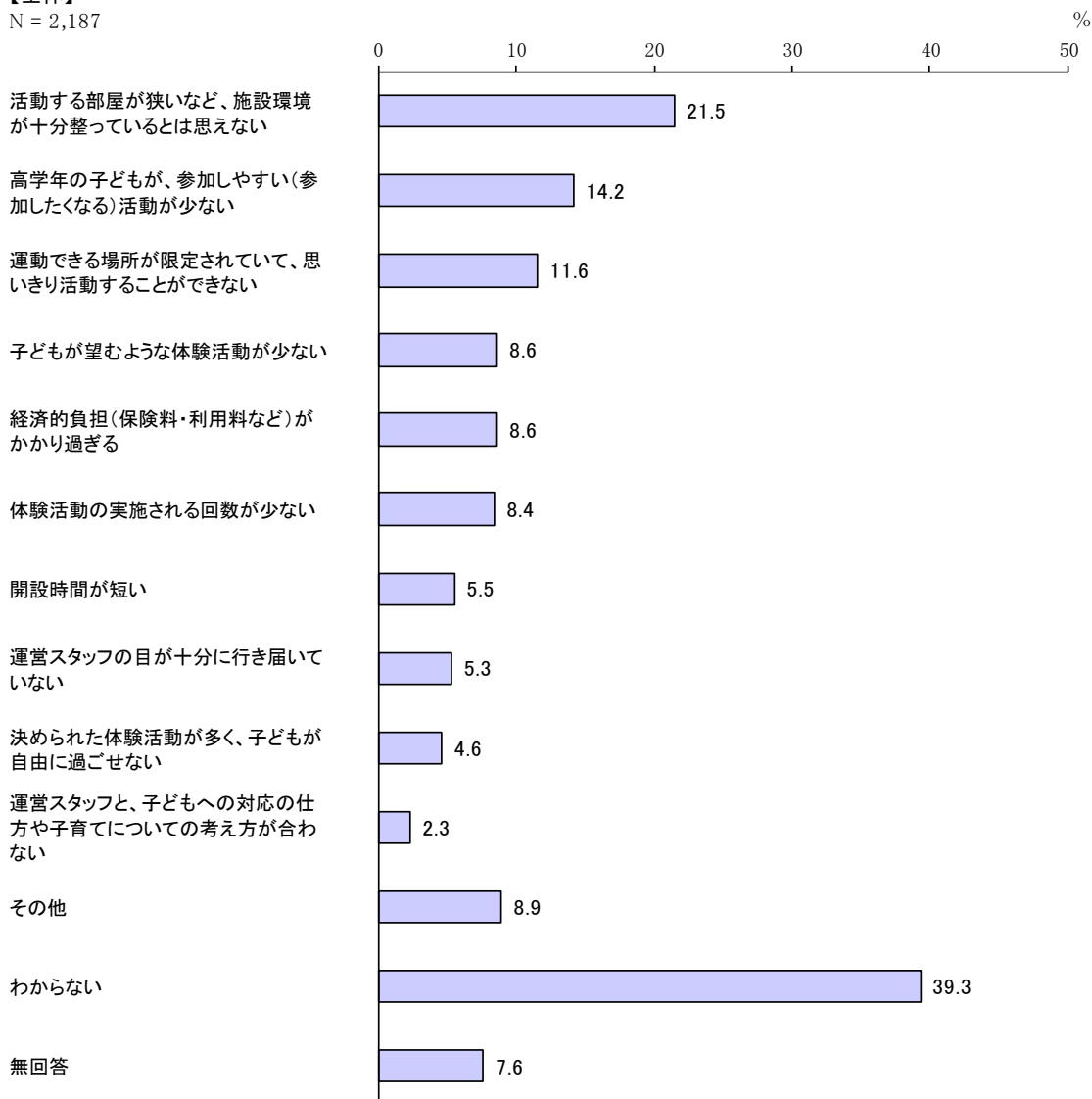
Q5-2 放課後子ども教室や子どもルームの問題点は何ですか。
(あてはまる番号3つまでに○)

「活動する部屋が狭いなど、施設環境が十分整っているとは思えない」の割合が21.5%、「高学年の子どもが、参加しやすい(参加したくなる)活動が少ない」の割合が14.2%と高くなっています。

学級別でみると、通常学級で「高学年の子どもが、参加しやすい(参加したくなる)活動が少ない」の割合が高くなっています。

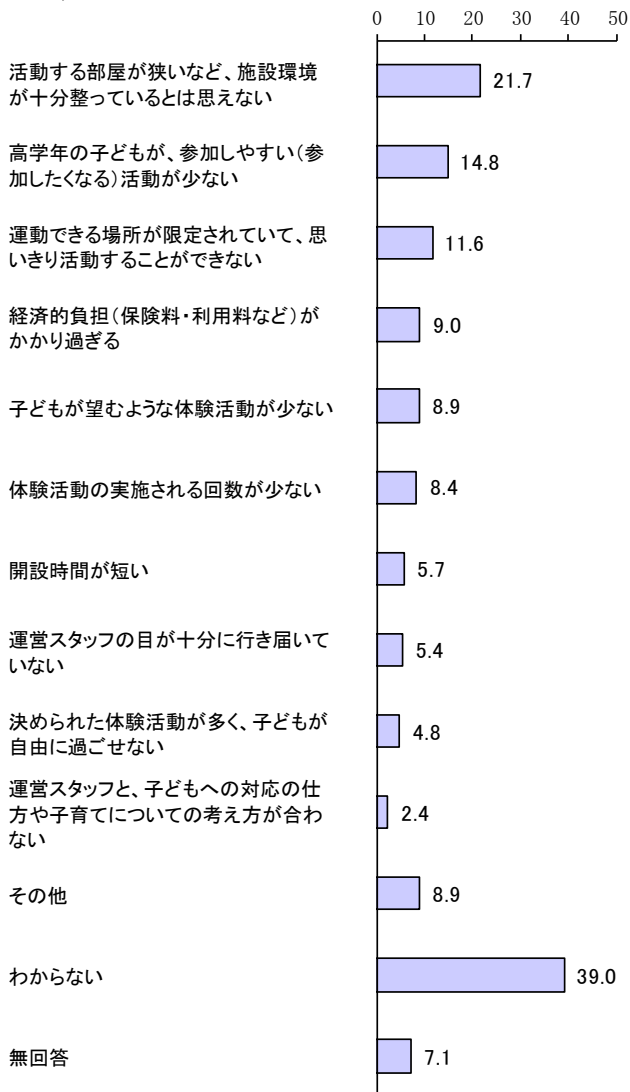
【全体】

N = 2,187



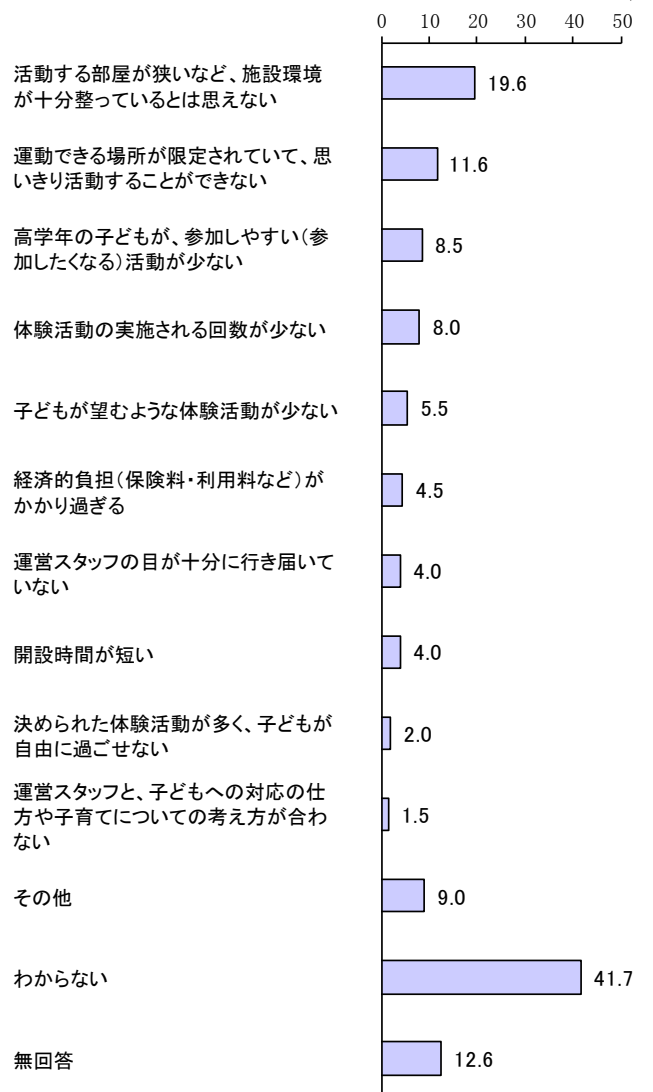
【通常学級】

N = 1,988



【特別支援学級】

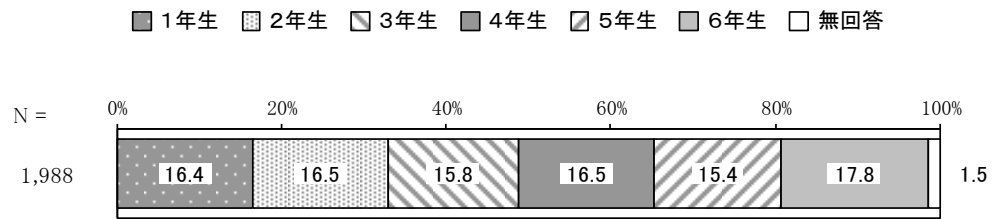
N = 199



3 小学生

(1) 放課後について

問1 あなたは、何年生ですか。(〇は1つ)



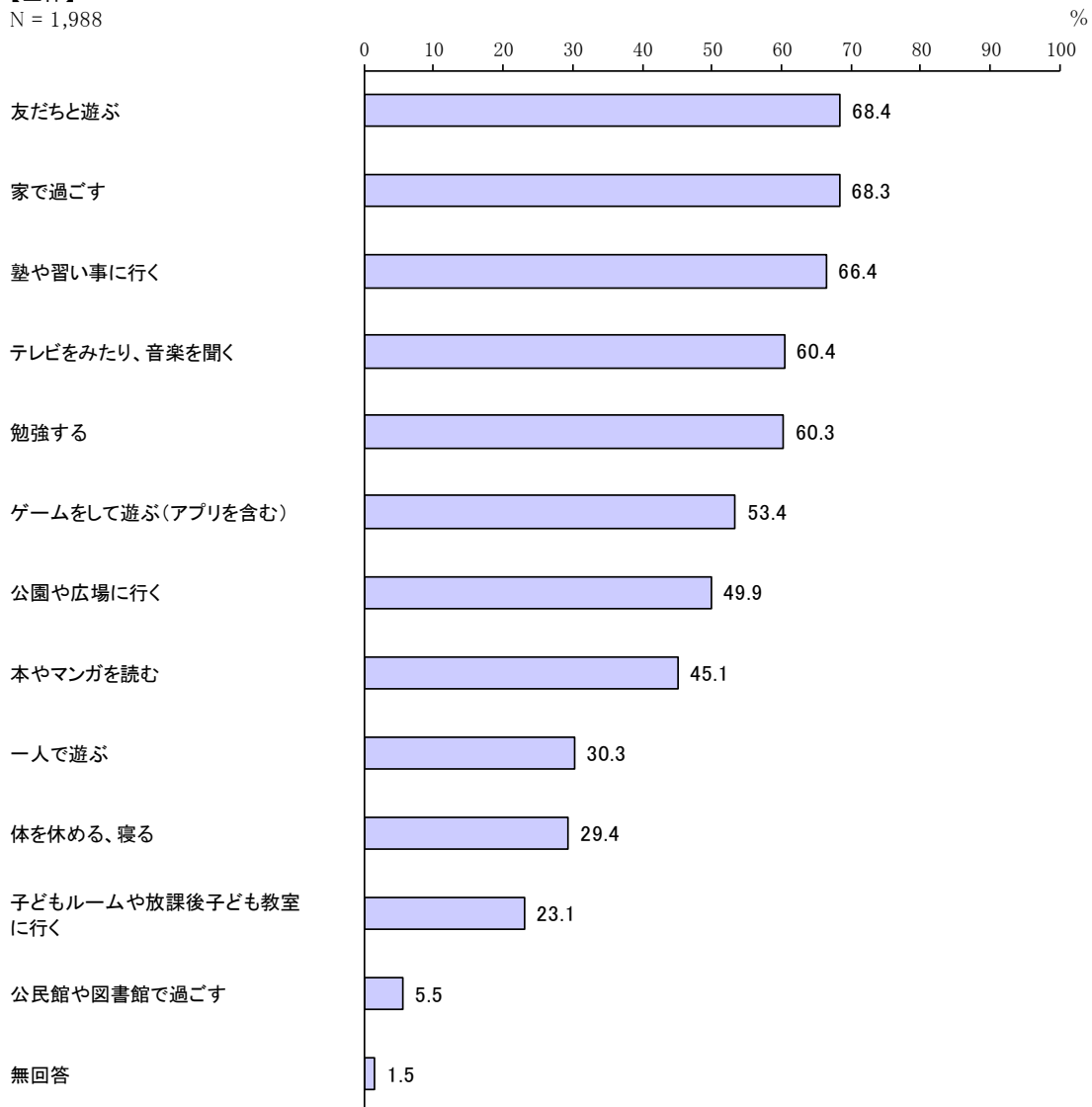
問2 放課後はどのように過ごしていますか、また、過ごしたいですか。次の（ア）～（シ）から、それぞれ選んで○をつけてください。（○はいくつでも）

【現実】 過ごしている

「友だちと遊ぶ」の割合が68.4%と最も高く、次いで「家で過ごす」の割合が68.3%、「塾や習い事に行く」の割合が66.4%となっており、低学年、高学年いずれもこの3つが上位を占めています。低学年で「子どもルームや放課後子ども教室に行く」の割合が高学年より高くなっています。

【全体】

N = 1,988

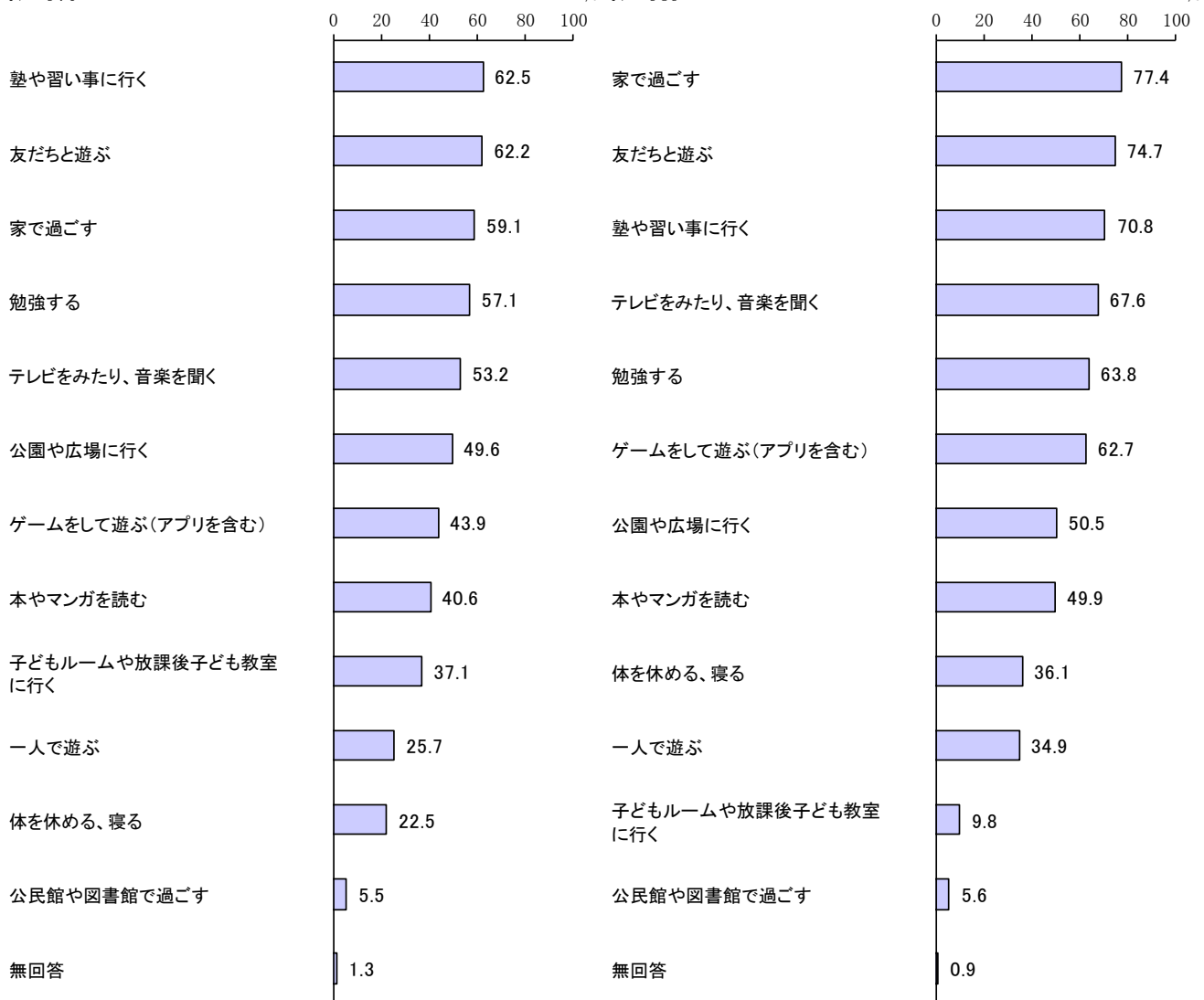


【低学年】

N = 970

【高学年】

N = 989



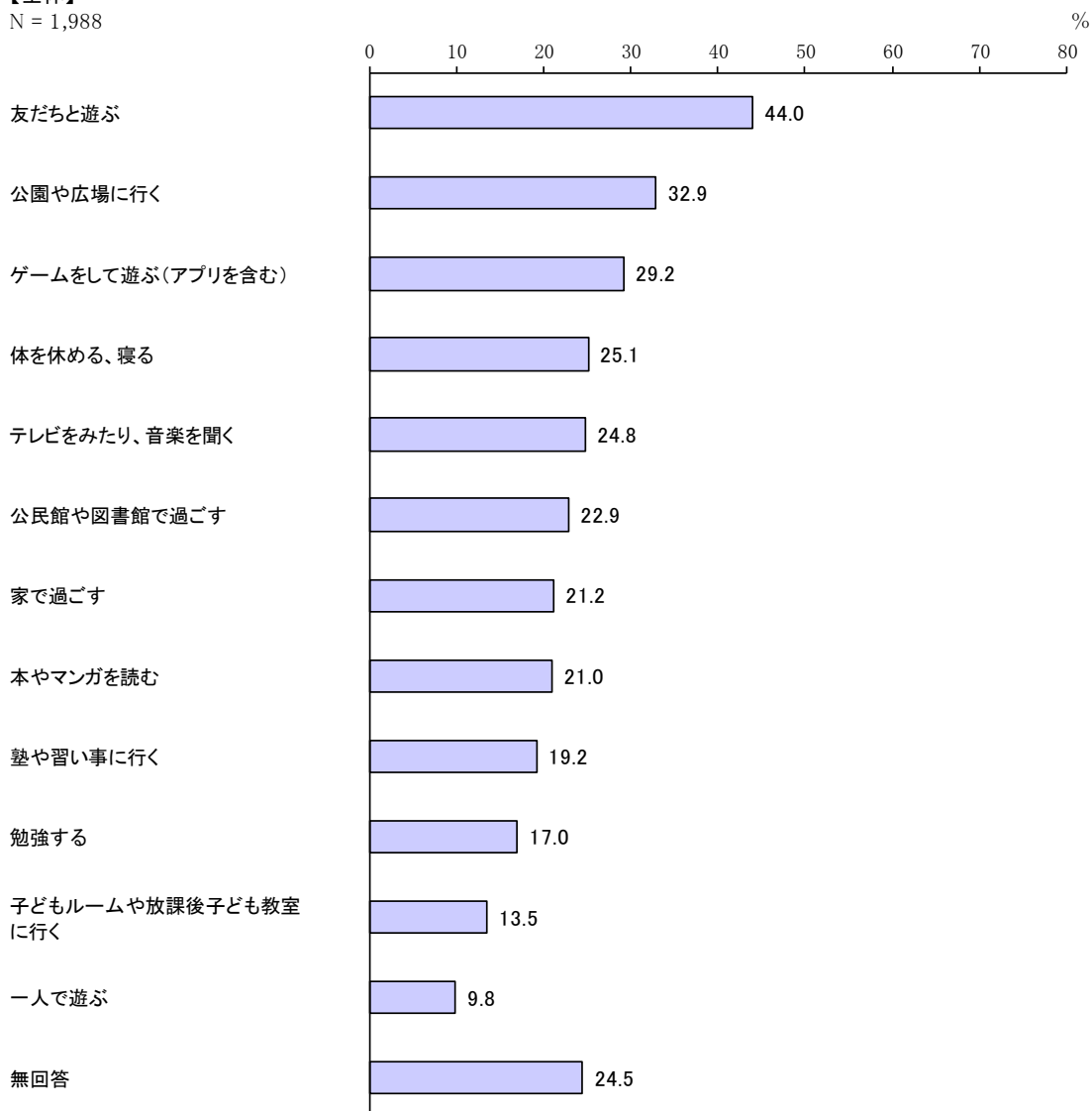
【希望】 過ごしたい

「友だちと遊ぶ」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「公園や広場に行く」の割合が 32.9%、「ゲームをして遊ぶ(アプリを含む)」の割合が 29.2%となっています。

学年別でみると、低学年で「公園や広場に行く」の割合が高く、高学年では「体を休める、寝る」の割合が高くなっています。

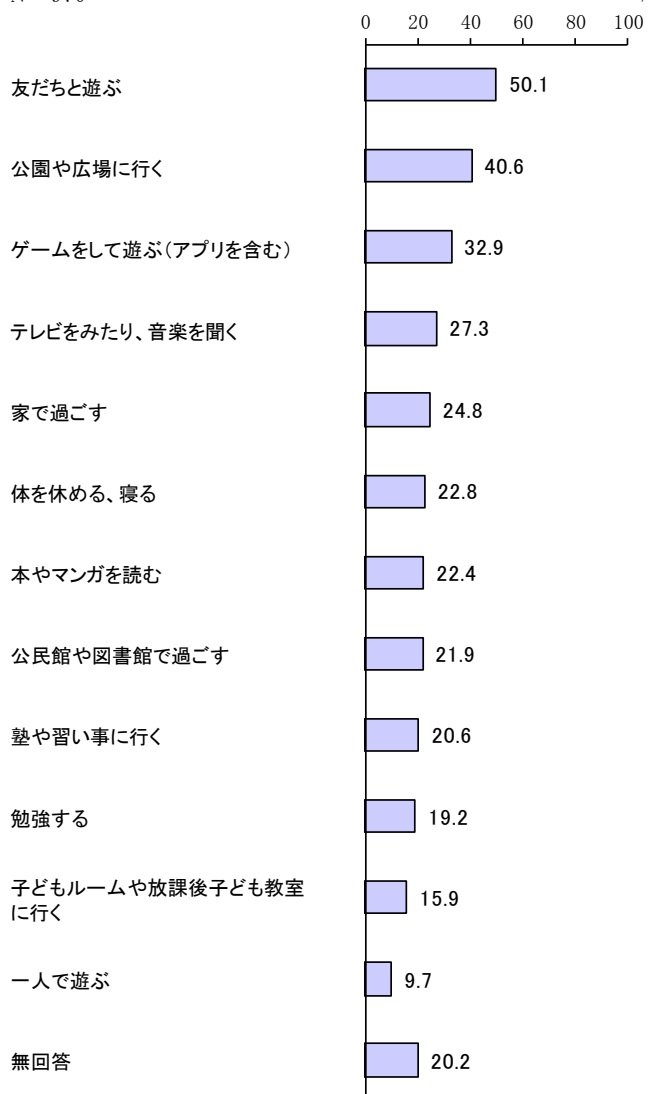
【全体】

N = 1,988



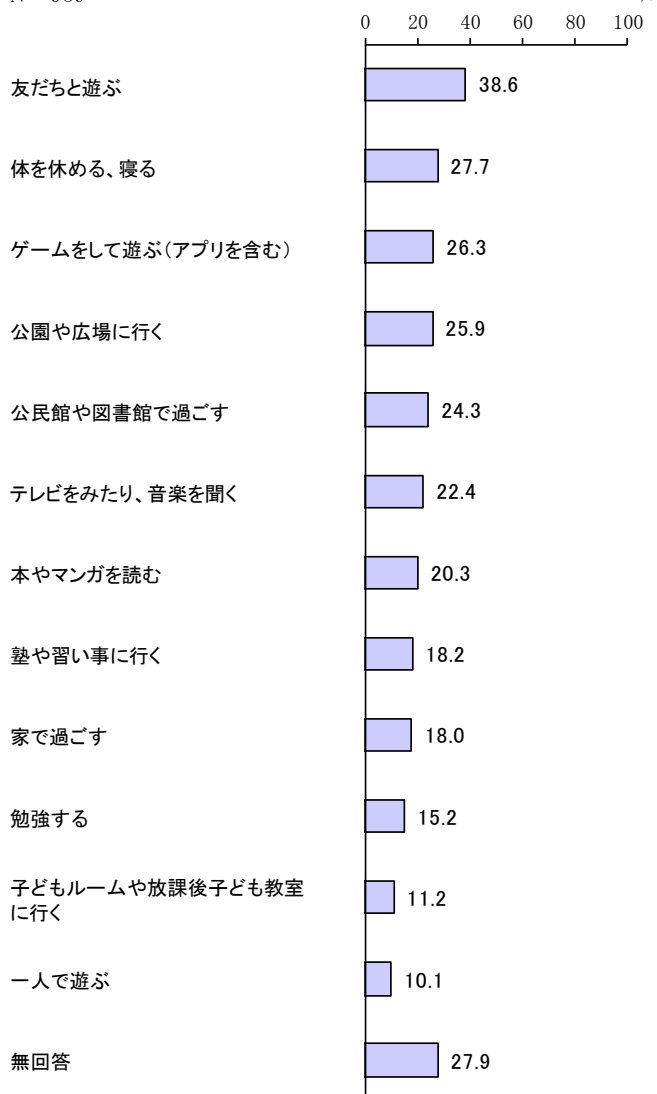
【低学年】

N = 970



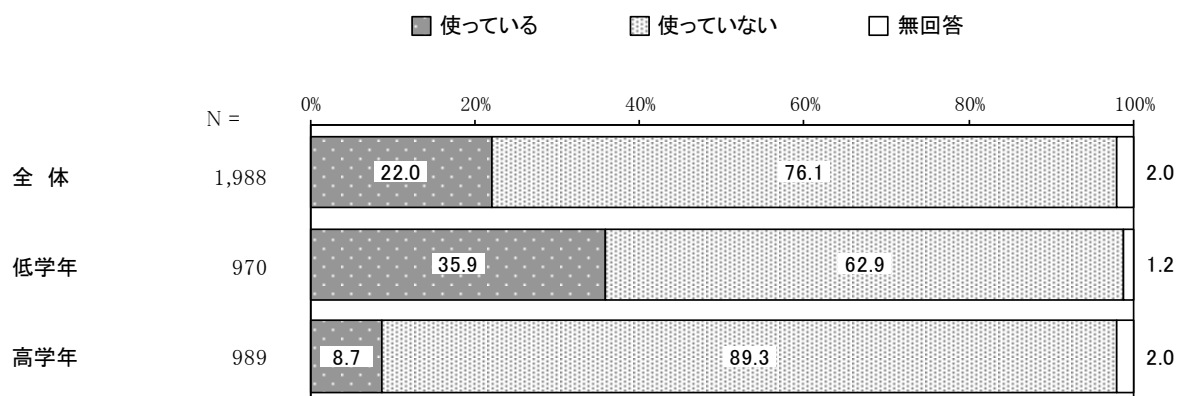
【高学年】

N = 989



問3 あなたは現在、子どもルームを使っていますか。(○は1つ)

「使っている」の割合が22.0%、「使っていない」の割合が76.1%となっています。
 学年別で見ると、低学年で「使っている」の割合が高くなっています。

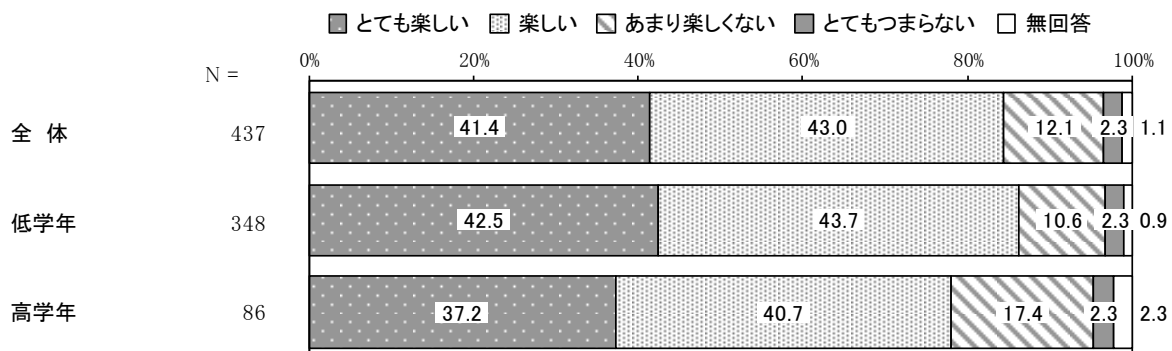


問3で「1. 使っている」と答えた人に質問します。

問3-1 子どもルームは楽しいですか。(○は1つ)

「とても楽しい」と「楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が84.4%、「あまり楽しくない」と「とてもつまらない」をあわせた“楽しくない”の割合が14.4%となっています。

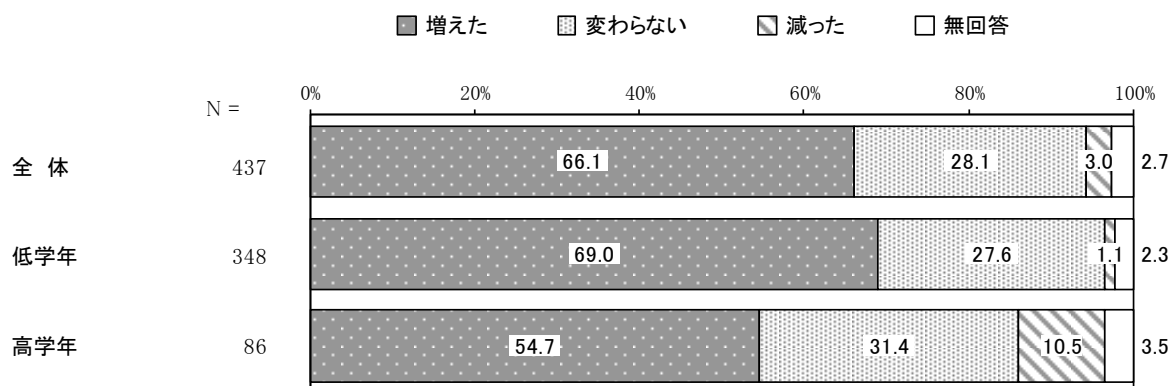
学年別で見ると、低学年で「とても楽しい」の割合が高くなっています。



問3-2 あなたは、子どもルームに参加して、次の（ア）～（ウ）の人は増えましたか。（それぞれ○は1つ）

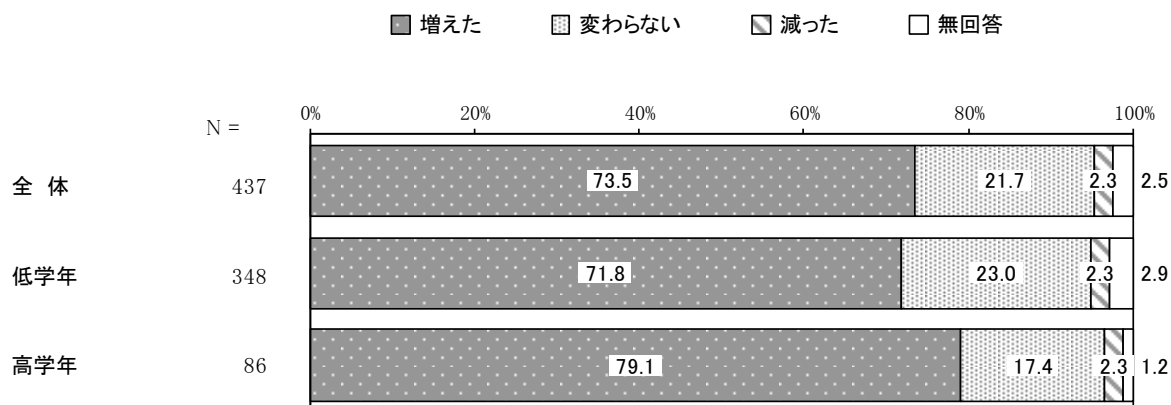
（ア）同じ学年の友だち

「増えた」の割合が66.1%と高くなっています。
 学年別で見ると、低学年で「増えた」の割合がより高い傾向です。



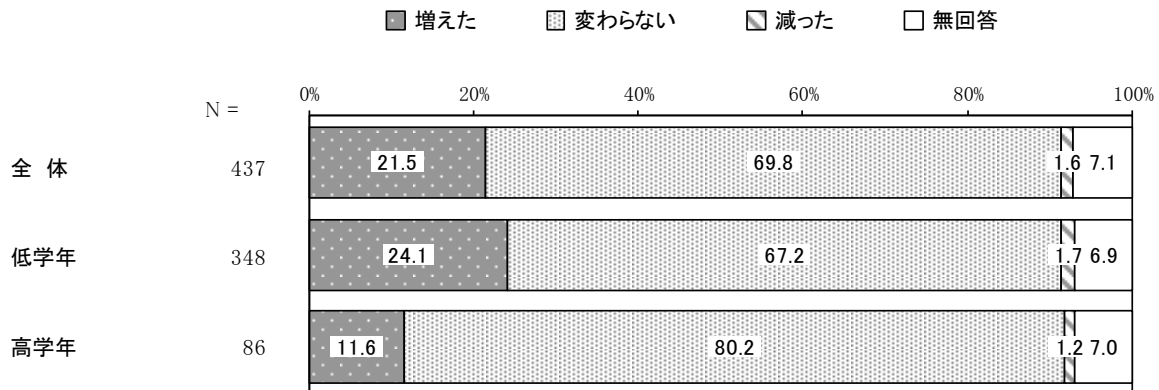
（イ）他の学年の友だち

「増えた」の割合が73.5%と高くなっています。
 学年別で見ると、高学年で「増えた」の割合がより高い傾向です。



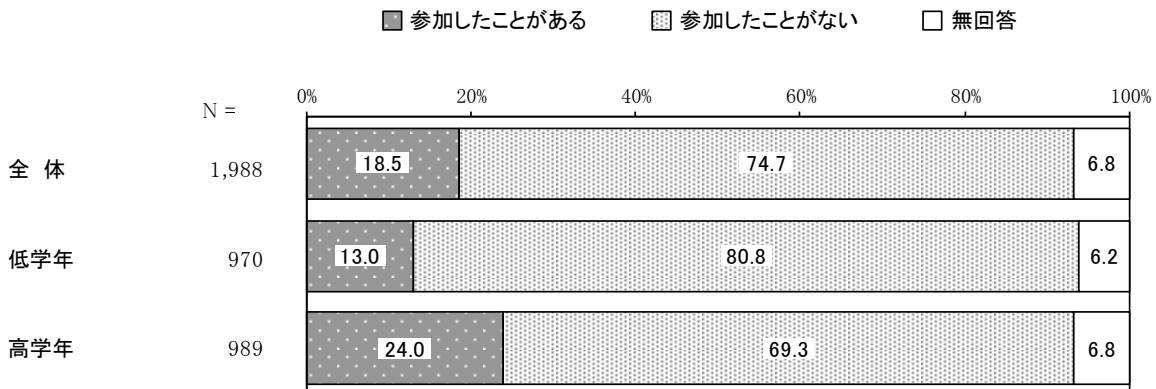
(ウ) 近くに住む大人の人で知っている人

「増えた」の割合が 21.5%と、それほど高くはありませんが、低学年の方が増えた傾向が見て取れます。



問4 あなたは、放課後子ども教室に参加したことがありますか。(○は1つ)

「参加したことがある」の割合が 18.5%、「参加したことがない」の割合が 74.7%となっています。学年別でみると、低学年で「参加したことがない」の割合が高くなっています。

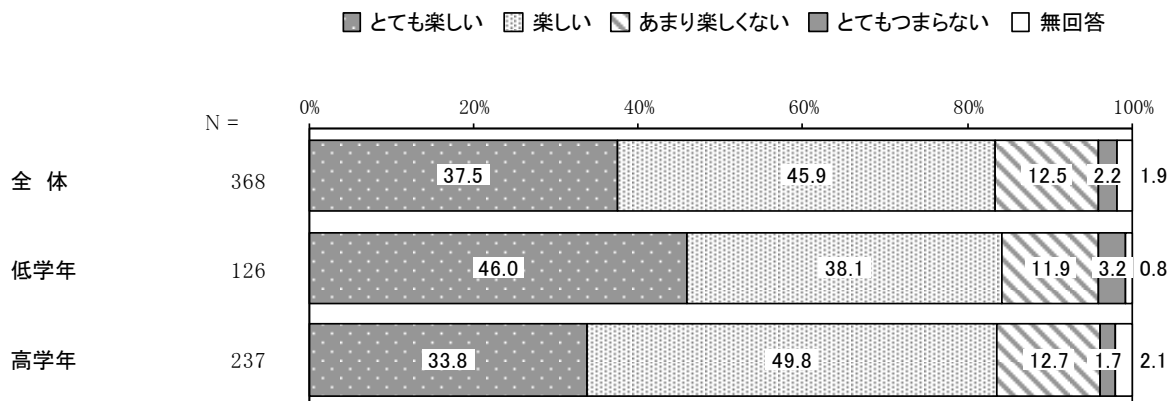


問4で「1. 参加したことがある」と答えた人に質問します。

問4-1 放課後子ども教室は楽しいですか。(○は1つ)

「とても楽しい」と「楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が83.4%、「あまり楽しくない」と「とてもつまらない」をあわせた“楽しくない”の割合が14.7%となっています。

学年別でみると、低学年で「とても楽しい」の割合が高くなっています。

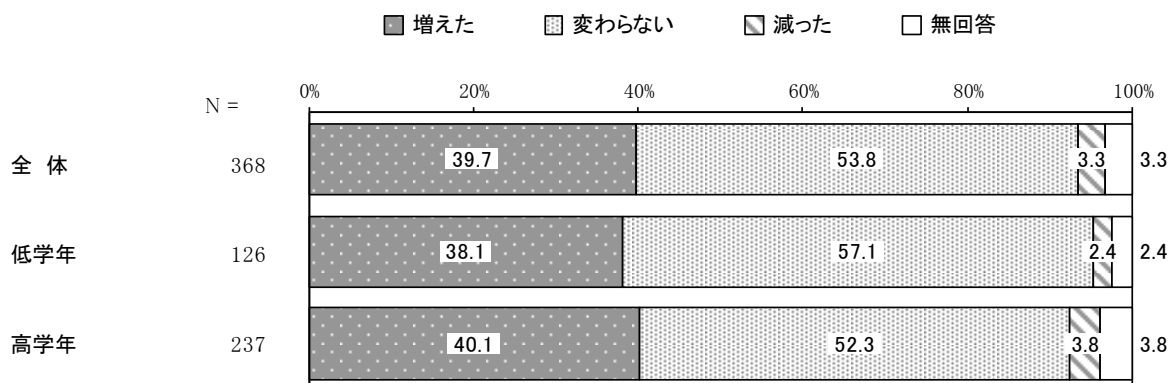


問4-2 あなたは、放課後子ども教室に参加して、次の(ア)～(ウ)の人は増えましたか。(それぞれ○は1つ)

(ア) 同じ学年の友だち

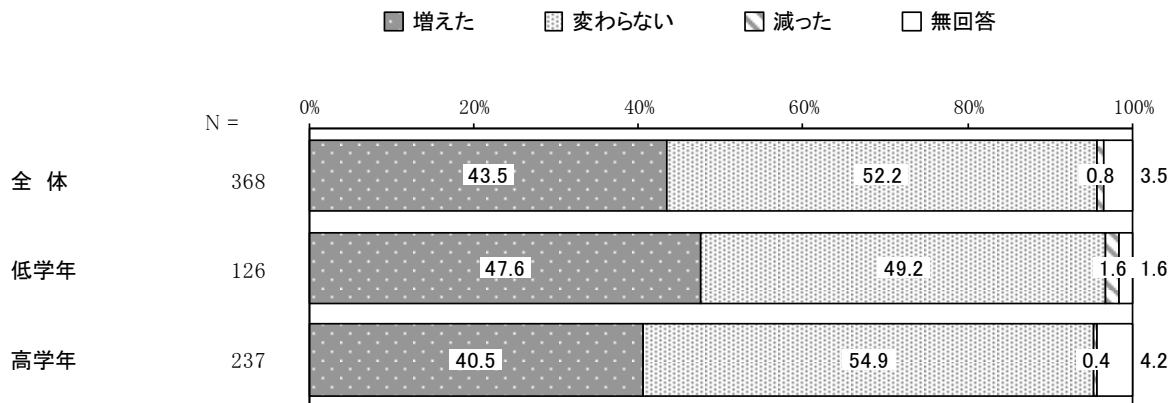
「増えた」の割合が39.7%となっています。

学年による大きな差異はみられません。



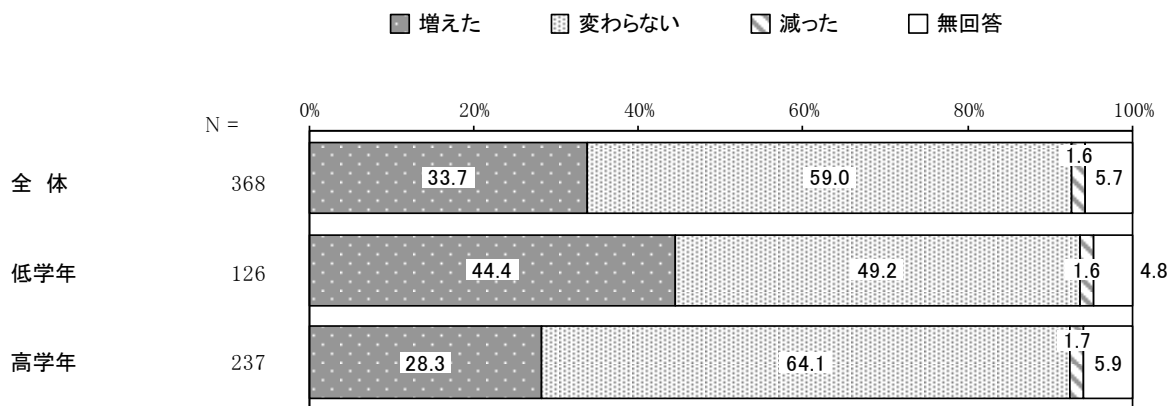
(イ) 他の学年の友だち

「増えた」の割合が43.5%あります。
特に低学年で「増えた」の割合が高くなっています。



(ウ) 近くに住む大人の人で知っている人

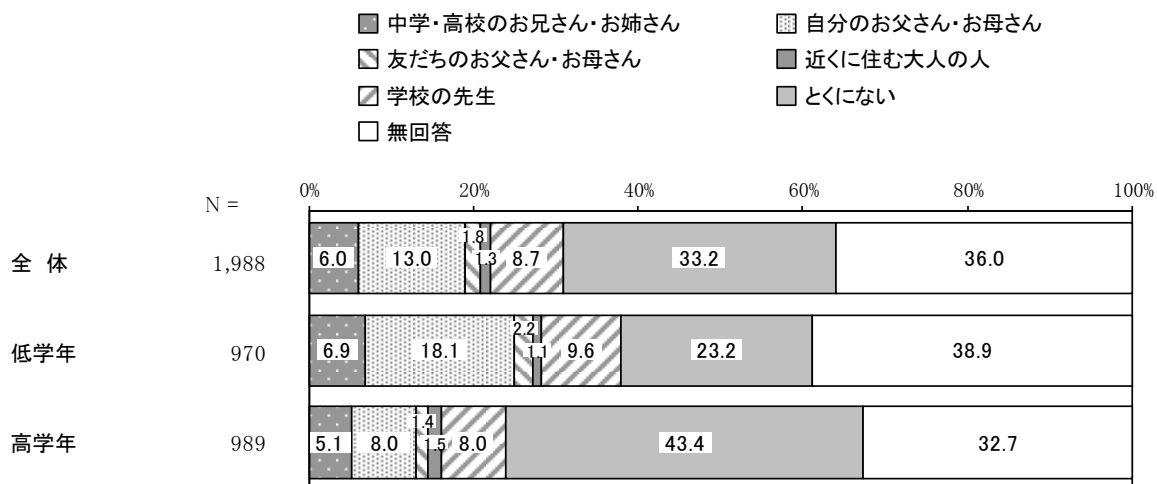
「増えた」の割合が33.7%あります。
特に低学年で「増えた」の割合が高くなっています。



問4-3 放課後子ども教室にいてほしい人はだれですか。(〇は1つ)

「とくにない」の割合が33.2%と最も高く、次いで「自分のお父さん・お母さん」の割合が13.0%となっています。

学年別で見ると、低学年で「自分のお父さん・お母さん」の割合が高く、高学年で「とくにない」の割合が高くなっています。



小学生の放課後について

【ポートフォリオによる分析】

(1) 現実・希望の得点化

問2について、得点化し、分析を行いました。

■現実・希望の得点化の手順■

	→	<table border="1"><tr><th>得点</th></tr><tr><td>1点</td></tr><tr><td>計算対象外</td></tr></table>	得点	1点	計算対象外		→	<table border="1"><tr><th>得点</th></tr><tr><td>1点</td></tr><tr><td>計算対象外</td></tr></table>	得点	1点	計算対象外
得点											
1点											
計算対象外											
得点											
1点											
計算対象外											
現実	→			→							
無回答	→			→							

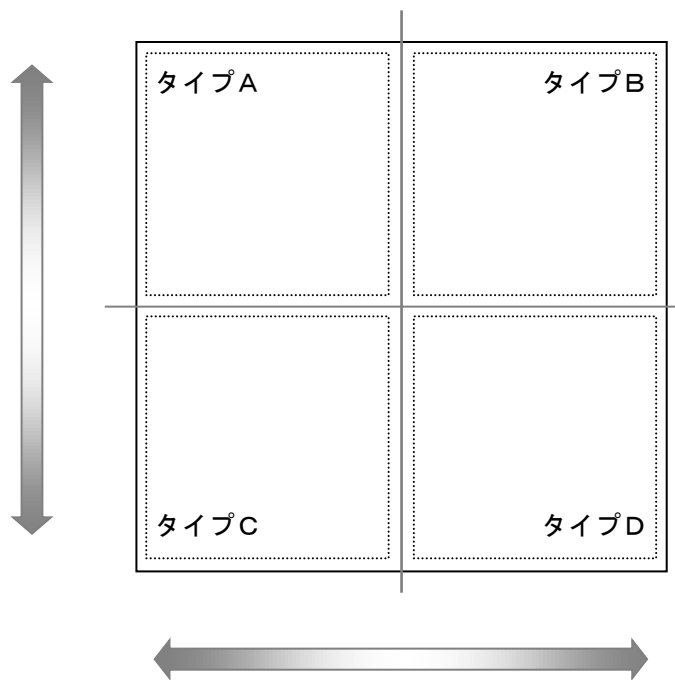
■得点の算出式■

$$1点 \times \frac{\text{「現実(希望)」の回答数}}{\text{無回答を除く回答数}}$$

算出された現実・希望の得点をもとに、各施策の現実・希望別に順位付けを行いました。

(2) ポートフォリオ分析による現実・希望の評価

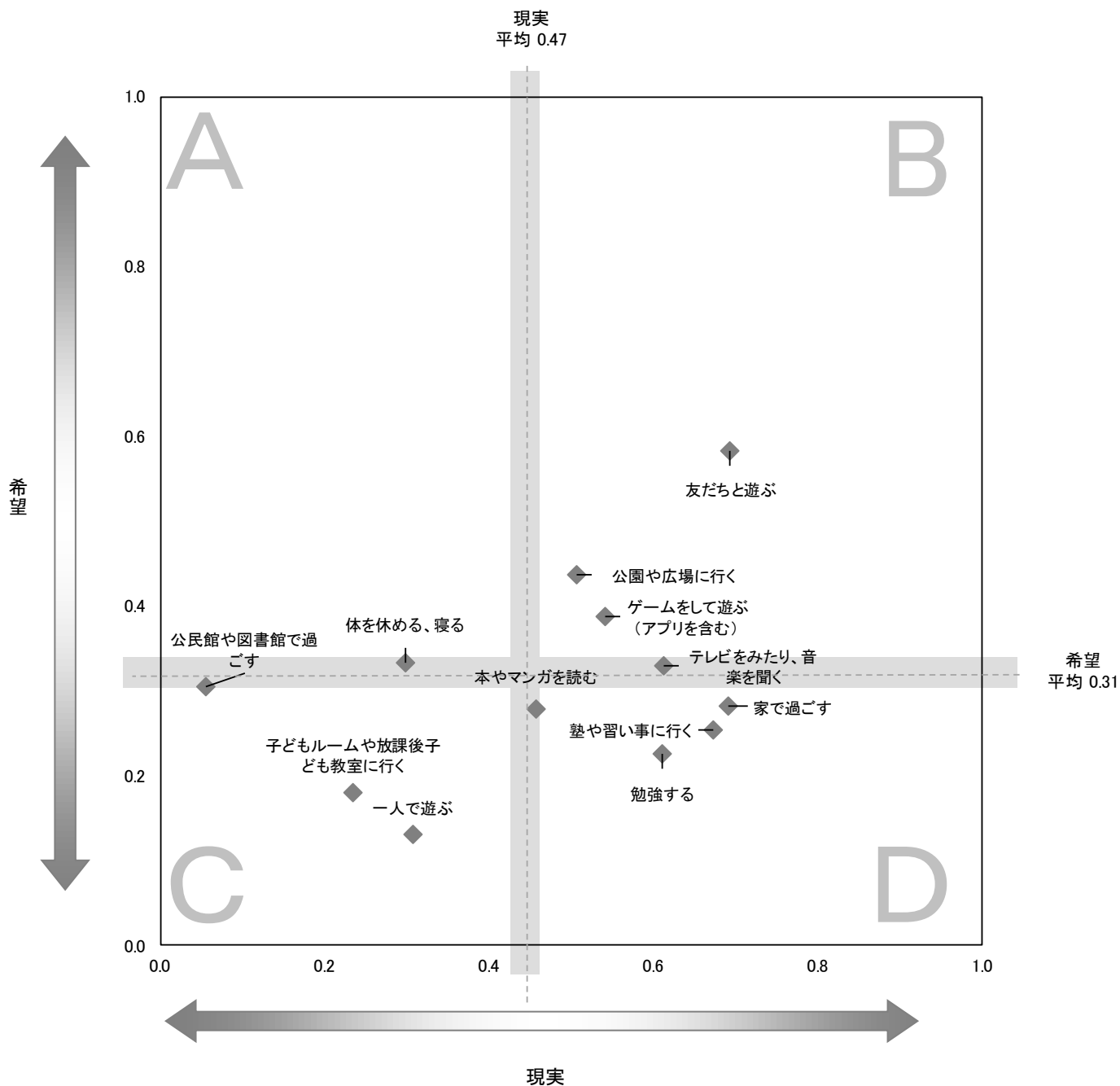
各項目の現実・希望の得点の関係について、現実・希望をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。



- ◆タイプA 現実は低い、希望は高い
- ◆タイプB 現実は高く、希望も高い
- ◆タイプC 現実は低く、希望も低い
- ◆タイプD 現実は高い、希望は低い

●ポートフォリオ分析

現実が高く、希望も高いタイプBに分類されたのは、『友だちと遊ぶ』『テレビをみたり、音楽を聞く』『ゲームをして遊ぶ (アプリを含む)』『公園や広場に行く』の4項目で、これらは希望と現実がほぼ一致していると考えられます。



Ⅲ 調査票

1 未就学児保護者

児童の放課後の過ごし方に関するアンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

千葉市では、子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、体験活動を行うことができるよう、子どもルームや放課後子ども教室等の充実を図っています。この度、これらの放課後施策の総合的な指針となる「(仮称)千葉市放課後子どもプラン」を策定するため、子どもルームや放課後子ども教室等に関するご意見などをお聞きし、計画に反映していくことを目的として、アンケート調査を実施することといたしました。

この調査では、平成31年度に小学校に入学されるお子様がいらっしゃる世帯から、保育所のクラス単位で任意に約600世帯を選ばせていただきました。なお、回答は無記名であり、ご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個々の回答内容を公表したり、調査目的以外に使用することは一切ございません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成30年5月

千葉市教育委員会

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・ 兄弟姉妹がいる場合も、5歳児クラスのお子様についてのみご回答ください。
- ・ 調査票は、A3両面1枚です。
- ・ 平成30年5月1日現在の内容でご記入ください。
- ・ 設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、[]内に具体的にご記入ください。
- ・ 設問によって、○をつけていただく数を()内に指定していますので、ご注意ください。

◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、6月11日(月)までに保育所の職員にご提出ください。

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

千葉市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習振興課 放課後子ども対策班

電話 043-245-5957 F A X 043-245-5992

Eメール hokago@city.chiba.lg.jp

※お電話につきましては、平日の午前9時から午後5時までの間にお願いいたします。

現在のご家庭の状況についてお尋ねします。

Q1 保護者の方がお仕事等から家に帰ってくるのは何時頃ですか(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------------|----------|---------|
| 1. 常に誰かは家にいる | 2. 15時以前 | 3. 16時頃 |
| 4. 17時頃 | 5. 18時頃 | 6. 19時頃 |
| 7. 20時頃 | 8. 20時以降 | |

ここから(Q2~)の質問では、お子様が小学校に入学されてからのご予定を伺います。

子どもルーム(学童保育)についてお尋ねします。

Q2 お子様は子どもルームを利用する予定ですか(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 利用する(したい) | 2. 利用しない(したくない) → Q2-2へ |
| 3. 未定 → Q3へ | |

Q2で「1. 利用する(したい)」と回答した方に質問します。

Q2-1 何年生まで利用させることを希望していますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 1年生まで | 2. 2年生まで | 3. 3年生まで |
| 4. 4年生まで | 5. 5年生まで | 6. 6年生まで |

Q2で「2. 利用しない(したくない)」と回答した方に質問します。

Q2-2 お子様は、放課後は主にどこで過ごす予定ですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 自宅 | 2. 祖父母・親戚の家 |
| 3. 友達・知人の家 | 4. 民間の預かりサービス |
| 5. 公園・図書館などの公共施設 | 6. 塾や習い事 |
| 7. その他 () | |

放課後子ども教室(※)についてお尋ねします。

※〇〇小わくわくキャンパス、〇〇小キッズクラブ等の名称で、放課後に地域の方や保護者が中心となって子どもたちに様々な体験を提供する活動です。小学校内の余裕教室や体育館、運動場などを利用し、スポーツ、文化活動、昔遊びなどを提供しています。

Q3 お子様は放課後子ども教室に参加する予定ですか(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------------|-----------------|-------|
| 1. 参加する(したい) | 2. 参加しない(したくない) | 3. 未定 |
|--------------|-----------------|-------|

お子様の放課後についてお尋ねします。

※千葉県では、放課後子ども教室と子どもルームの一体的な運営を稲浜小学校でモデル事業として有料で行っています。午後5時までは定員や保護者の就労等の条件を設けず、希望する全てのお子様に参加できる多様な体験活動や自由な時間・場所を提供しています。また、午後5時から午後7時までは保護者が就労されているお子様を対象に、安全・安心な居場所の提供を行っています。今後、モデル事業の検証を行うとともに、増設を検討していきます。

Q4 お子様の放課後に必要と思うものは次のうちどれですか（あてはまる番号3つまでに○）

1. 大人の見守りによる安全・安心な居場所
2. 学びのきっかけとなる体験活動（スポーツや文化芸術活動など）
3. 自由遊び
4. 宿題の支援
5. 学力を高めるための学習支援（算数や英語など。宿題は除く）
6. 運動系の習い事
7. 音楽系の習い事
8. 将来の職業の参考になる体験活動
9. その他（）

Q4-1 お子様の小学校で放課後子ども教室と子どもルームの一体的な運営が行われるとしたら、利用を希望する頻度は次のうちどれですか。（あてはまる番号1つに○）

1. ほぼ毎日（日・祝・年末年始を除く）
2. 週3～4回程度
3. 週1～2回程度
4. 月1～2回程度
5. 夏休みなど長期休暇のみ
6. 利用しない →Q5へ

Q4-2 放課後子ども教室と子どもルームの一体的な運営を利用する場合、何時までの利用を希望されますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 16時まで
2. 17時まで
3. 18時まで
4. 19時まで
5. 20時まで
6. 20時以降まで

※放課後子ども教室のモデル事業では多様な体験活動の一つとして、企業等による継続的なプログラム（英語教室、プログラミング教室、アクロバット教室など）を市場価格より安価な額で導入しています。活動のイメージは、保護者の送迎を要さない小学校内での塾・習い事のようなものです。

Q4-3 お子様の小学校で、放課後に企業等による塾・習い事のような継続的なプログラム（週1回程度）が導入され、これに参加するとしたら、負担できる費用（月額）はいくらくらいですか（あてはまる番号1つに○）

1. 1,000円未満
2. 1,000円～3,000円未満
3. 3,000円～5,000円未満
4. 5,000円～7,000円未満
5. 7,000円～10,000円未満
6. 10,000円以上

Q 5 お子さんが小学校に入学した後、放課後（平日の授業終了後）の時間を、どのような場所で過ごさせたいですか。（低学年、高学年のそれぞれ3つまでに○）

	低学年	高学年
(ア) 自宅		
(イ) 祖父母・親戚宅、友人・知人宅		
(ウ) 習い事（ピアノ、サッカークラブ、学習塾など）		
(エ) 放課後子ども教室		
(オ) 子どもルームや民間の学童保育		
(カ) その他（校庭、図書館、公園など）		

千葉市の放課後施策に期待することについてお尋ねします。

Q 6 放課後子ども教室や子どもルームに期待することは何ですか。
（あてはまる番号3つまでに○）

1. 安全・安心な居場所であること
2. 安心して預けられるスタッフの見守りがあること
3. 子どもが、多くの友達や異なる学年の子どもと交流できること
4. 子どもが、工作・料理・スポーツなどのいろいろな体験活動に参加できること
5. 子どもや保護者が、地域の人とふれ合うことで、地域とつながりができること
6. 子どもが、広い場所で思いきり体を動かして活動できること
7. 子どもが、あいさつや後片付けなどの基本的な生活習慣や、勉強（宿題等）の習慣を身につけることができること
8. 保護者が、安心して仕事や自分の時間の確保をできること
9. 経済的負担が少ないこと
10. その他 []

○放課後の過ごし方に関してご提案等がありましたら自由に記入してください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

児童の放課後の過ごし方に関するアンケート ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

千葉市では、子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、体験活動を行うことができるよう、子どもルームや放課後子ども教室等の充実を図っています。この度、これらの放課後施策の総合的な指針となる「(仮称)千葉市放課後子どもプラン」を策定するため、子どもルームや放課後子ども教室等に関するご意見などをお聞きし、計画に反映していくことを目的として、アンケート調査を実施することといたしました。

この調査では、小学生がいる世帯の保護者の方の中から任意に約3,000人を選ばせていただきました。なお、回答は無記名であり、ご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個々の回答内容を公表したり、調査目的以外に使用することは一切ございません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成30年5月

千葉市教育委員会

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・兄弟姉妹がいる場合も、調査票を配布されたお子様についてのみご回答ください。
- ・調査票は、保護者用(1～4ページ)とお子様用(5、6ページ)に分かれていますので、保護者の方が回答したあとに、続けてお子様にご回答ください。
- ・平成30年5月1日現在の内容でご記入ください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、[]内に具体的にご記入ください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を()内に指定していますので、ご注意ください。

◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、6月8日(金)までに担任の先生にお渡しくださいますようお願いいたします。

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

千葉市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習振興課 放課後子ども対策班

電話 043-245-5957 FAX 043-245-5992

Eメール houkago@city.chiba.lg.jp

※お電話につきましては、平日の午前9時から午後5時までの間にお問い合わせください。

アンケート(保護者用)

※1～4ページは、保護者の方がご回答ください。

ご家庭の状況についてお尋ねします。

Q1 保護者の方がお仕事等から家に帰ってくるのは何時頃ですか(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------------|----------|---------|
| 1. 常に誰かは家にいる | 2. 15時以前 | 3. 16時頃 |
| 4. 17時頃 | 5. 18時頃 | 6. 19時頃 |
| 7. 20時頃 | 8. 20時以降 | |

子どもルーム(学童保育)についてお尋ねします。

Q2 お子様は子どもルームを利用していますか(あてはまる番号1つに○)

1. 利用している

2. 利用していない

Q2-2へ

Q2で「1. 利用している」と回答した方に質問します。

Q2-1 子どもルームを利用しているお子様についてお尋ねします。
子どもルームを利用しない日はどのように過ごしていますか。主な過ごし方を2つまで順位をつけて□に番号を記入してください。

1 番目	2 番目

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 家族などの大人と過ごしている | 2. 友達や兄弟姉妹と過ごしている |
| 3. ひとりで過ごしている | |
| 4. 習い事(学習塾、ピアノ教室、サッカークラブなど)に通っている | |
| 5. その他 (|) |

Q2で「2. 利用していない」と回答した方に質問します。

Q2-2 子どもルームを利用していないお子様についてお尋ねします。
お子様は、放課後は主にどこで過ごしていますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 自宅 | 2. 祖父母・親戚の家 |
| 3. 友達・知人の家 | 4. 民間の預かりサービス |
| 5. 公園・図書館などの公共施設 | 6. 塾や習い事 |
| 7. その他 (|) |

放課後子ども教室（※）についてお尋ねします。

※〇〇小わくわくキャンパス、〇〇小キッズクラブ等の名称で、放課後に地域の方や保護者が中心となって子どもたちに様々な体験を提供する活動です。
ほとんどの小学校で今年度の活動がまだ開始されていないため、平成 29 年度についてお答えください。平成 30 年度に入学された 1 年生のお子様の場合は空欄でかまいません。

Q 3 お子様は放課後子ども教室に登録していますか（あてはまる番号 1 つに〇）

1. 登録している

2. 登録していない

→ Q3-2へ

Q 3で「1. 登録している」と回答した方に質問します。

Q 3-1 お子様は放課後子ども教室にどのくらい参加していますか（あてはまる番号 1 つに〇）

1. ほぼ毎回、参加している

2. 2回に1回程度、参加している

3. ごくまれに、参加している

4. ほとんど参加していない

Q 3で「2. 登録していない」と回答した方に質問します。

Q 3-2 登録しない理由は次のうちどれですか（あてはまる番号 3 つまでに〇）

1. お子様が行きたがらないから

2. 友だちが利用していないから

3. 塾や習い事をしているから

4. 一人で（自宅等に）居られるから

5. 保護者が家に居るため参加する必要がないから

6. 保護者の手伝い（子どもたちの見守り、お迎え等）が必須だから

7. 活動内容に興味のあるものがないから 8. 放課後は子どもルームに行くから

9. 学年の制限があり参加できないから

10. 放課後子ども教室が活動していることを知らないから

11. その他 [

]

お子様の放課後についてお尋ねします。

千葉県では、放課後子ども教室と子どもルームの一体的な運営を稲浜小学校でモデル事業として有料で行っています。午後 5 時までは定員や保護者の就労等の条件を設けず、希望する全てのお子様に参加できる多様な体験活動や自由な時間・場所を提供しています。また、午後 5 時から午後 7 時までは保護者が就労されているお子様を対象に、安全・安心な居場所の提供を行っています。今後、モデル事業の検証を行うとともに、増設を検討していきます。

Q 4 お子様の放課後に必要と思うものは次のうちどれですか（あてはまる番号 3 つまでに〇）

1. 大人の見守りによる安全・安心な居場所

2. 学びのきっかけとなる体験活動（スポーツや文化芸術活動など）

3. 自由遊び

4. 宿題の支援

5. 学力を高めるための学習支援（算数や英語など。宿題は除く）

6. 運動系の習い事

7. 音楽系の習い事

8. 将来の職業の参考になる体験活動

9. その他 [

]

Q4-1 お子様の小学校で放課後子ども教室と子どもルームの一体的な運営が行われるとしたら、利用を希望する頻度は次のうちどれですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. ほぼ毎日(日・祝・年末年始を除く) | 2. 週3~4回程度 |
| 3. 週1~2回程度 | 4. 月1~2回程度 |
| 5. 夏休みなど長期休暇のみ | 6. 利用しない |

Q5へ

Q4-1で「1」~「5」と回答した方に質問します。

Q4-2 放課後子ども教室と子どもルームの一体的な運営を利用する場合、何時までの利用を希望されますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 16時まで | 2. 17時まで |
| 3. 18時まで | 4. 19時まで |
| 5. 20時まで | 6. 20時以降まで |

放課後子ども教室のモデル事業では多様な体験活動の一つとして、企業等による継続的なプログラム(英語教室、プログラミング教室、アクロバット教室など)を市場価格より安価な額で導入しています。活動のイメージは、保護者の送迎を要さない小学校内での塾・習い事のようなものです。

Q4-3 お子様の小学校で、放課後に企業等による塾・習い事のような継続的なプログラム(週1回程度)が導入され、これに参加するとしたら、負担できる費用(月額)はいくらくらいですか(あてはまる番号1つに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 1,000円未満 |
| 2. 1,000円~3,000円未満 |
| 3. 3,000円~5,000円未満 |
| 4. 5,000円~7,000円未満 |
| 5. 7,000円~10,000円未満 |
| 6. 10,000円以上 |

千葉市の放課後施策のよいところや問題点についてお尋ねします。

Q5 放課後子ども教室や子どもルームの満足度はどのくらいですか(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. かなり満足 | 2. やや満足 |
| 3. どちらでもない | 4. やや不満 |
| 5. かなり不満 | 6. どちらも利用していない |

Q5-1 放課後子ども教室や子どもルームのよいところは何ですか。
(あてはまる番号3つまでに○)

1. 小学校内(または近隣)にあり、安全・安心な場所である
2. スタッフが見守ってくれるので安心して預けられる
3. 子どもが、多くの友達や異なる学年の子どもと交流できる
4. 子どもが、工作・料理・スポーツなどのいろいろな体験活動に参加できる
5. 子どもや保護者が、地域の人とふれ合うことで、地域とつながりができる
6. 子どもが、広い場所で思いきり体を動かして活動できる
7. 子どもが、あいさつや後片付けなどの基本的な生活習慣や、勉強(宿題等)の習慣を身につけることができる
8. 保護者が、安心して仕事や自分の時間の確保をすることができる
9. 経済的負担(保険料・利用料など)が少ない
10. その他 { }
11. わからない

Q5-2 放課後子ども教室や子どもルームの問題点は何ですか。
(あてはまる番号3つまでに○)

1. 活動する部屋が狭いなど、施設環境が十分整っているとは思えない
2. 運動できる場所が限定されていて、思いきり活動することができない
3. 体験活動の実施される回数が少ない
4. 子どもが望むような体験活動が少ない
5. 決められた体験活動が多く、子どもが自由に過ごせない
6. 高学年の子どもが、参加しやすい(参加したくなる)活動が少ない
7. 運営スタッフの目が十分に行き届いていない
8. 運営スタッフと、子どもへの対応の仕方や子育てについての考え方が合わない
9. 開設時間が短い
10. 経済的負担(保険料・利用料など)がかかり過ぎる
11. その他 { }
12. わからない

○放課後の過ごし方に関してご提案等がありましたら自由に記入してください。

以上で保護者様への質問は終わりです。

5、6ページについてはお子様が回答してください。

ほうかご こさまよう 放課後についてのアンケート（お子様用）

◇記入のお願い

このアンケートは、あなたの放課後の生活について質問するものです。自分が思ったとおりに書いてください。

◇注意

- ・それぞれの質問の答えの中で、自分にあてはまるものの番号に○をつけてください。
- ・名前は書かないでください。
- ・質問の中で、答えたくない質問がある場合には、答える必要はありません。
- ・質問がむずかしいときは、おうちの人といっしょに答えてください。

問1 あなたは、何年生ですか。（○は1つ）

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 |
| 4. 4年生 | 5. 5年生 | 6. 6年生 |

問2 放課後はどのように過ごしていますか、また、過ごしたいですか。次の（ア）～（シ）から、それぞれ選んで○をつけてください。（○はいくつでも）

	【現実】 過ごしている	【希望】 過ごしたい
（ア） 友だちと遊ぶ		
（イ） 塾や習い事に行く		
（ウ） テレビをみたり、音楽を聞く		
（エ） 本やマンガを読む		
（オ） 家で過ごす		
（カ） 勉強する		
（キ） ゲームをして遊ぶ（アプリを含む）		
（ク） 公園や広場に行く		
（ケ） 体を休める、寝る		
（コ） 一人で遊ぶ		
（サ） 子どもルームや放課後子ども教室に行く		
（シ） 公民館や図書館で過ごす		

問3 あなたは現在、子どもルームを使っていますか。(〇は1つ)

1. 使っている 2. 使っていない

問3で「1. 使っている」と答えた人に質問します。

問3-1 子どもルームは楽しいですか。(〇は1つ)

1. とても楽しい 2. 楽しい
3. あまり楽しくない 4. とてもつまらない

問3-2 あなたは、子どもルームに参加して、次の(ア)～(ウ)の人は増えましたか。(それぞれ〇は1つ)

	増えた	変わらない	減った
(ア) 同じ学年の友だち	1	2	3
(イ) 他の学年の友だち	1	2	3
(ウ) 近くに住む大人の人で知っている人	1	2	3

問4 あなたは、放課後子ども教室に参加したことがありますか。(〇は1つ)

1. 参加したことがある 2. 参加したことがない

問4で「1. 参加したことがある」と答えた人に質問します。

問4-1 放課後子ども教室は楽しいですか。(〇は1つ)

1. とても楽しい 2. 楽しい
3. あまり楽しくない 4. とてもつまらない

問4-2 あなたは、放課後子ども教室に参加して、次の(ア)～(ウ)の人は増えましたか。(それぞれ〇は1つ)

	増えた	変わらない	減った
(ア) 同じ学年の友だち	1	2	3
(イ) 他の学年の友だち	1	2	3
(ウ) 近くに住む大人の人で知っている人	1	2	3

問4-3 放課後子ども教室にいてほしい人はだれですか。(〇は1つ)

1. 中学・高校のお兄さん・お姉さん 2. 自分のお父さん・お母さん
3. 友だちのお父さん・お母さん 4. 近くに住む大人の人
5. 学校の先生 6. とくにない

以上で質問は終わりです。この調査票は、担任の先生に渡してください。

千葉市児童の放課後の過ごし方に関するアンケート調査
調査結果報告書

平成 30 年 7 月発行

編 集 千葉市教育委員会生涯学習部生涯学習振興課

住 所 〒260-8730 千葉市中央区問屋町 1-35 ポートサイドタワー11 階

連絡先 TEL 043-245-5957 (直通) FAX 043-245-5992

